

認定した地域再生計画の概要

| 番号 | 都道府県 | 作成主体名 (地方公共団体名) | 地域再生計画の名称 | 地域再生計画の 区域の範囲 | 地域再生計画の概要 |
|------------------|------|--------------------|-------------------------------------|----------------------------|--|
| 新規認定 152件 | | | | | |
| 1 | 北海道 | 旭川市 | “北のプラチナシティ あさひかわ”実現のための地域再生計画 | 旭川市の全域 | 旭川市は、北海道のほぼ中央に位置する北海道第2の都市であり、北北海道地区の拠点都市として発展してきたが、1986年をピークに人口は緩やかに減少している。また逆に高齢化率は上昇し、全国平均を上回るなど、少子高齢化が顕著になってきている。 この少子高齢化社会を乗り越え、市民がいきがいを持って暮らしていけるよう、集積する医療機関・豊富で魅力ある食資源・陸路及び空路の交通の要所など本市の強みを生かした取組によって、“北のプラチナシティあさひかわ”を実現し、地域の活性化を図る。 |
| 2 | 北海道 | 当麻町 | 木でつなぐ輝くわがまち創造計画 | 北海道十川郡当麻町の全域 | 当麻町の財産である豊かな森林資源を活用し、循環型の森林整備による林業の振興を進めているが、その効果が最大限発揮できるよう、地域の木材を地域で加工する木工技術者など新たな雇用の場を創出し、産学官連携により多角的な発想で付加価値を高める加工品開発・ブランド化を進めると共に、「木育」の視点を取り入れた当麻町ならではのプロモーションにより、まちのにぎわい創出、また、木とふれあえる木製遊具コーナー、木育体験プログラム実施などにより交流人口の拡大を目指す。 |
| 3 | 青森県 | 弘前市 | 弘前市「豊かな自然環境と清潔・魅力的なまちづくり計画」 | 弘前市の全域 | 弥生地区は、岩木山の麓に位置する豊かな自然を活かした農業が盛んな地域であり、生活環境の向上、河川等の水質保全のため、「汚水処理施設整備交付金」を活用し、農業集落排水施設の整備と水洗化の普及促進を行う。 また、公共下水道及び農業集落排水施設区域外については、合併処理浄化槽（個人設置型）の普及促進を行い、適正な汚水処理を図ると共に、地域住民が快適に暮らせる生活環境づくりを進めるため、河川等の清掃などを展開し環境保全に対する理解を深める。 |
| 4 | 青森県 | 五戸町 | ふるさとの水環境循環再生計画 | 青森県三戸郡五戸町の全域 | 五戸町は、青森県の東南部に位置し、一級河川「浅水川」、二級河川「五戸川」の2河川が東西に流れ、太平洋に注いでいる。その山間地においては、生活環境の急激な変化に伴う生活汚水がそのまま川へ流れ込み、悪臭の発生と川や海を汚す原因となっており、農業への影響も懸念されている。そこで、「清潔で美しいまち」をまちづくりの第一目標とし、汚水処理施設整備を図り、定住化を促進し、基幹産業である農業生産物等の生産を保持して、地域再生を図る。 |
| 5 | 秋田県 | 由利本荘市 | 「自然環境と調和した、優しさのある定住都市」水環境再生計画 | 由利本荘市の全域 | 日本海と子吉川流域における住民の生活環境の向上と豊かな自然環境保全による観光資源の確立及び癒しの空間創出のため、汚水処理施設整備交付金を活用し、農業集落排水処理施設を整備、自然共生型定住エリアでは、浄化槽を定住状況に応じ効率的に設置する。また、「由利本荘市定住自立圏構想」と連携し、ケーブルテレビの加入促進、ミニディサービスの設置促進、地域ブランドの確立等、圏域全体を活性化させ、自然と調和した快適なまちづくりを実現し、定住を基本とした安心して暮らせる自立した社会構造の構築による地域再生を図る。 |
| 6 | 山形県 | 山形県、鶴岡市 | 庄内浜の魅力を生かした港整備による漁村活性化計画 | 鶴岡市の区域の一部（加茂港、鼠ヶ間港及び大岩川漁港） | 本市日本海沿岸部に位置する漁村地域の基幹産業である水産業は、所得の減少、担い手不足や高齢化といった厳しい状況に直面しており、同地域の活力の低下が目立っている。このため、多様な水産資源を育み、自然環境・景観等に優れ、海洋性レクリエーションの場になっており、加茂水族館などの地域資源にも恵まれている庄内浜の魅力を生かし、港整備（機能改善・環境整備）を柱として、漁獲高の増加（水産業の魅力向上）、担い手の確保及び地域資源を活用した交流人口の増加により、漁村地域の活性化を図るものである。 |
| 7 | 福島県 | 福島県、会津若松市、会津美里町 | 豊かな森林（もり）に囲まれた住みよい地域づくり計画 | 会津若松市及び福島県大沼郡会津美里町の全域 | 当地域は、福島県の西部に位置する農山村地域であるが、近年、高齢化・過疎化が進行しており、定住環境の改善、産業の振興による地域活性化が求められている。 このため、市道の改良等を実施し、生活圏における利便性の向上を図るとともに、豊富な森林資源を活用するための林道整備を実施し、林業生産活動の効率化や低コスト化を図る。 |
| 8 | 茨城県 | 茨城県、常総市、坂東市 | 首都圏近郊及び交通インフラを生かした働き・遊び・住み続ける地域創生計画 | 常総市、つくば市及び坂東市の全域 | 農業従事者の減少や総生産額の減少など、産業力の低下や少子高齢化等による人口減少等により、自立的・持続的な定住地域としての活力や魅力の向上が喫緊の課題となっている。首都圏に近接する地理的条件や圏央道の整備効果を産業や観光などに最大限波及させるため、道整備交付金を活用して、広域農道つくば下総線や関連市道を整備し、広域的な交通ネットワークや圏央道へのアクセスを向上させ、農産物の販路拡大、新たな産業展開、観光客の誘致拡大等を図り、働き、遊び、住み続けられる自立した地域創生を目指す。 |
| 9 | 茨城県 | 茨城県、常陸太田市 | 「自然」と「歴史・文化」魅力ひた交流ネットワーク計画 | 日立市、常陸太田市及び高萩市の全域 | 常陸太田市と日立市及び高萩市は、古くから交流があった地域である。地域の活性化及び産業の振興のため、既存の県道、市道、広域農道の幹線道路網を活用し、地域内に点在する自然・文化・観光・居住等の主要拠点間の移動円滑化を図ることにより、観光施設の入込観光客数の増加や、都市農村交流人口の増加など、整備された道路ネットワークを活用した「自然」と「歴史・文化」をはじめとした地域住民相互の交流を促進し、魅力ある地域の再生を図る。 |
| 10 | 茨城県 | ひたちなか市 | ひたちなか市水環境再生計画 | ひたちなか市の全域 | 河川の水質改善を進め、豊かな水環境の保全を図るため、公共下水道については事業計画区域のうち、堀口・市毛、八幡町および中根地区の整備を行う。公共下水道の事業計画区域と農業集落排水施設の既整備区域を除く市内全域について浄化槽の整備促進を図り、汚水処理施設の総合的な整備により汚水処理人口普及率を向上させ、効率的に地域の生活環境を改善する。また環境教育・環境学習の推進として、環境シンポジウムおよび環境講座の開催や環境保全活動等「ひたちなか市第2次環境基本計画」に掲げる施策を総合的かつ計画的に実施する。 |
| 11 | 茨城県 | 行方市 | 市民が創る健康・医療・福祉のまち「武湖の国なめがた」 | 行方市の全域 | 行方市では、進学や就職を契機とした若年層の市外への流出による人口減少が進んでいる。人口減少及び高齢化に対応できる持続性のあるまちづくりを推進していくためには、行政コストがかからないコンパクトなまちづくりが必要であり、市民が高齢になっても健康で生きがいを持った生活を送ることができるようなまちづくりが必要である。公共施設の最適化により、将来の行政コストの負担を軽減し、そして公共施設の最適化により行政サービスの低下を招かないように、公共交通の整備、ICTを活用した新しい行政サービスの提供を図っていく。 |
| 12 | 栃木県 | 栃木県、大田原市 | 安全・安心で災害に強いまちづくり計画 | 大田原市の全域 | 大田原市総合計画の基本政策の一つ「安全・安心で市民活動がいきづまちなちへ」を実現して人口減少・高齢化に歯止めをかけた。 本計画では自然災害や火災・事故等に備えた防災基盤の整備として、緊急医療機関、消防本部へのアクセス道路の拡幅改良と特に損傷の著しい区間の舗装修繕及び山村地域における林道の整備を一体的に行うことにより、だれもが安全で安心して暮らせる環境づくりを図り、定住人口の増加を目指す。 |
| 13 | 栃木県 | 栃木県、那須塩原市 | 「ウェルカム なすおぼら 選ばれしまちへ」 | 那須塩原市の全域 | 那須塩原市の高林地区及び塩原地区は、急激な人口減少と高齢化によりまちの活力が低下している。また、那須塩原市全体においても今後、人口減少と高齢化が進行する。この課題に対し、市道と林道の一体的整備により、JR駅など交通拠点へのアクセス向上と交通拠点と塩原温泉などの観光拠点を結ぶ道路ネットワークを強化して、観光客を増し体験・交流の機会拡大を図る。これらの取り組みにより定住を促進して持続可能な活力ある那須塩原市の構築を図る。 |
| 14 | 栃木県 | 鹿沼市 | 鹿沼市「清流のふるさと」再生計画 | 鹿沼市の全域 | 鹿沼市を流れる各河川は、市民の憩いの場として、また、下流域の人々の命の源として多くの恵みを提供してきた。しかし、近年、水質悪化が顕著になってきたため、平成17年度から、汚水処理施設の整備を進め、「水のふるさと」の再生を図ってきたが、未だ十分ではない。このため、汚水処理施設整備を更に促進するため、本再生計画により、快適な生活環境の創出や公共用水域の水質等の向上を図り、鹿沼市民のみならず下流域の人々も水の恵みを受受できるよう、潤い豊かな「清流のふるさと」鹿沼市の再生を目指す。 |

| 番号 | 都道府県 | 作成主体名 (地方公共団体名) | 地域再生計画の名称 | 地域再生計画の 区域の範囲 | 地域再生計画の概要 |
|----|------|-------------------------|---------------------------------------|--|---|
| 15 | 栃木県 | 那須烏山市 | 水と緑豊かなひかり輝く まちづくり計画 | 那須烏山市の全域 | 人口減少や高齢化の情勢変化の中、八溝山系の緑や那珂川・荒川などの清流を有する那須烏山市で、健全で恵み豊かな環境を損なうことなく将来の世代に引き継いでいく責務から市をあげて様々な施策を実施し、自然の可能性を最大限生かして「自然の中で自分を楽しむ」「川を丸ごと学ぶ」拠点にしたいと考えている。 水と緑豊かなひかり輝くまちにするため、汚水処理施設整備を一層促進し、河川の水質を再生させるとともに、新たな交流人口を生むことにより地域再生を目指す。 |
| 16 | 群馬県 | 群馬県、桐生市 | 群馬県東毛地域における 地域資源を活用した再生 計画 | 桐生市及びみどり市の 全域 | 群馬県の東部に位置する本区域は、豊かな森林資源と多くの観光施設に恵まれている山間地域である。 本計画では、この特性を生かしながら、地域内の国道、主要地方道に続くネットワーク路網として市道及び林道を整備することにより、観光施設へのアクセスを容易にし、渋滞緩和等の通行の安全や災害時のバイパス道路としての利便性を確保するとともに、間伐等の森林整備事業の促進を図る。このことにより、山村地域経済の活性化並びに地域住民にとって活力のある住みよい地域作りを目指す。 |
| 17 | 群馬県 | 伊勢崎市 | 世界遺産等歴史的資源 の活用による地域再生計 画 | 伊勢崎市の一部(境 地区) | 伊勢崎市の境地区は、古い町並みや絹織物に係る歴史的資産が地区内に多く点在している。大正8年に建てられ、繭の集約・保管などで使用された「境町駅」は境町駅の駅前であり、歴史的資源としての価値もあることから、まちづくりの拠点として整備する。また、利根川の対岸にある世界遺産「富岡製糸場と絹産業遺産群」の構成資産「田島弥平旧宅」は境地区の境島村にあり、来訪者は年間4万人が見込まれる状況であるが、もともと観光地ではなく、飲食店やみやげ物もないなか、おもてなし対策や案内の一層の充実に向けた整備を進める。 |
| 18 | 群馬県 | 太田市 | 太田市「人と自然にやさ しい都市環境再生計画」 | 太田市の全域 | 『個性が輝く生活文化都市』を太田市の将来像として、多様化、高度化する市民のニーズに応えるため、教育文化の向上、福祉健康の増進、生活環境の整備、産業経済の振興、都市基盤の整備および行財政の推進を目標に掲げている。この目標達成のため、汚水処理施設の更なる整備を促進し、衛生的で快適な生活環境の創出や河川をはじめとする公共用水域の水質向上を図り、地域の自然を生かした自然と人が共生できる環境にやさしいまちづくりを推進し、『人と自然にやさしい都市環境』の再生をめざす。 |
| 19 | 群馬県 | 沼田市 | 自然と親しみ、清流を育 む源流のまち沼田再生計 画 | 沼田市の全域 | 沼田市は豊かな自然環境に恵まれており、この自然環境と人間の共生を目指して、「森林文化都市宣言」を制定し、人と自然が真にふれあう明るく元気で誇りある理想のまちづくりを全市一丸となって進めている。しかし、近年、都市化の進展や生活様式が変わるに従って、未処理の生活雑排水による水質汚濁などが顕在化している。 このため、汚水処理施設整備交付金を活用して、汚水処理施設の整備を進め、森林文化都市宣言の基本理念である「さわやかな空気、澄んだ水、緑豊かな自然にやさしいまち」の実現を図る。 |
| 20 | 群馬県 | 榛東村 | 榛東村「資源循環社会を 形成する村」再生計画 | 群馬県北群馬郡榛東 村の全域 | 平成31年度までの5年間で公共下水道事業の完成を目指し、村内下水道計画区域の管渠整備を完了させる。 また、公共下水道及び農業集落排水のエリア外の地域については、合併処理浄化槽の整備を進める。これらにより、汚水処理人口普及率を向上させ、村内の衛生環境の更なる充実を図り、住みよい村づくりを推進することで、住環境の優れた村というイメージを高め、村外からの転入を促進し人口の増加を図る。 |
| 21 | 埼玉県 | 埼玉県、秩父市 | 人と自然が共生できる活 力のある地域づくり計画 | 秩父市の全域 | 市の面積の約87%は森林で、その面積は埼玉県の森林の約40%を占め、林業が地域産業の一つになってきた経緯がある。しかし、近年は林業の後継者不足により森林の適切な維持管理がされず森林は荒廃の危機にある。 このことから、道整備交付金を活用した道路整備事業を継続的に実施することにより、貴重な森林資源を生かした林業振興の促進及び森林環境の改善を図るとともに、地域住民の利便性及び安全性を向上させ、道路環境面から地域の交流人口の増に貢献し地域の活性化を図る。 |
| 22 | 埼玉県 | 埼玉県、小鹿野町 | 人と自然が共に輝く魅力 あふれるふるさとづくり計 画 | 埼玉県秩父郡小鹿野 町の全域 | 都市近郊に位置しているが、恵まれた自然に触れることができる当町の特性を最大限に生かすことができるよう、町道・林道など交通網の整備を推進し、町内全域に散在する観光拠点間及び都市部へのアクセスをさらに向上させる。また、そうした交通網整備により、災害時の避難路・輸送路の確保等や林地整備と合わせて進める間伐事業の推進による森林機能・景観の保全など住民生活及び来訪者に対する安全性・快適性の確保と向上を図る。これらの事業により「人と自然が共に輝く魅力あふれるふるさと」の実現を目指す。 |
| 23 | 千葉県 | 君津市、君津富 津広域下水道組 合 | 水の恵み豊かなまち・君 津再生計画 | 君津市の全域 | 君津市は、小櫃川と小糸川が流れ、上流域は三島湖、豊英湖、亀山湖、中流域は、自噴井戸と、自然の水の資源に恵まれ、観光産業や水稲、野菜の栽培などが盛んである。一方で、都市化の進展や生活様式の変化によって、河川の汚濁などの様々な環境問題が顕在化し、早急な汚水処理施設整備が求められている。公共下水道を整備していくと共に、下水道事業計画区域、及び農業集落排水事業区域以外の区域に合併浄化槽を設置することにより、一体的な汚水処理施設の整備を図り、効率的に地域の生活環境を改善する。 |
| 24 | 千葉県 | 酒々井町 | 「人 自然 歴史が調和し た活力あふれるまち」 酒々井再生計画 | 千葉県印旛郡酒々井 町の全域 | 当町は古くからの歴史を持ち、近年では成田空港近接など立地に恵まれ発展を遂げてきた。その一方で人口増加に伴う公共水質の悪化や、高齢化の進展などの問題が発生している。このような状況の中で、汚水処理施設整備交付金を活用し、生活排水の処理施設を一体的に整備することにより、千葉県北部に残る貴重な自然資産である印旛沼の水質保全と生活環境の改善を図り、「人 自然 歴史が調和した活力あふれるまち 酒々井」を目指す。 |
| 25 | 神奈川県 | 神奈川県、小田 原市 | 魅力つながら西さがみま ちづくり | 神奈川県足柄下郡湯河原 町の全域並びに小田原市 の区域の一部(酒匂川以 西)及び足柄下郡真鶴町 の区域の一部(真鶴湾及 び岩漁港を除く。) | 神奈川県西部に位置する西さがみ地域は史跡や美しい海岸線、温泉等多彩な地域資源を有し、みかん等果樹生産も盛んで体験農業による農業振興等地域資源を生かした様々な誘客の取り組みをおこなっているが、中心市街地以外の道路整備の立ち遅れ等から豊かな地域資源を生かされず地域経済の停滞が懸念されている。また、地域の幹線道路が海岸線に位置しており、大地震等の被災により交通網の分断の恐れもある。 そこで、道整備交付金を活用し、地域資源を結ぶ道路ネットワークを構築し地域経済の活性化とともに安全防災面の強化を図る。 |
| 26 | 新潟県 | 新潟県 | 柏崎市縦断・農林道ネット ワーク計画 | 柏崎市の全域 | 柏崎市南部の中山間地である柏崎市折居地区を起点とし市中心部に向かって延びる「広域農道柏崎線」の第1-1号路線及び第2号路線の一部区間を整備することによって、早期に全線供用を開始し、農産物物流の効率化を図る。また「林道(森林基幹道)黒姫山線」の同市岡田地区から同市岡野町地区までの未整備区間を整備し、全線開通させることによって、沿線全域へのアクセスの確保、木材生産量の拡大及び間伐等の森林施策が遅れている箇所の解消を図る。 |
| 27 | 新潟県 | 新潟県、十日町 市 | 農と観光ネットワーク計 画 | 新潟県中魚沼郡津南 町の全域及び十日町 市の区域の一部(旧 十日町市及び旧中里 村) | 「広域農道中魚沼地区」は十日町市、津南町を縦貫し、河岸段丘上に広がる農地・農業用施設を繋ぐ広域農道である。広域農道の整備及び広域農道に挟まれる市道南雲原本線の一体的な整備により市場へのアクセス改善だけでなく、区域内に点在する観光交流施設や農業用施設間の有機的なネットワーク構築を図り、観光交流の拡大や地域基盤の強化を図る。 |
| 28 | 新潟県 | 新潟県、糸魚川 市 | 翠のふるさとづくり・地域 資源活性化計画 | 糸魚川市の全域 | 糸魚川市は、平成17年に49,844人であった国勢調査人口が、平成22年には47,702人となり、少子高齢化、過疎化が進んでいる。 効率的な森林整備の促進や地産材の利用拡大のための林道整備や、地域住民が安全で安心して利用できる市道整備が必要であり、これにより、森林資源の利活用及び地域活動や集落機能の維持を図る。 地域が持つ伝統や文化の継承のほか、自然・文化資源であるジオサイトや観光施設へのアクセス向上を図り、地域資源の活性化による活力あるまちづくり(翠のふるさとづくり)を目指す。 |

| 番号 | 都道府県 | 作成主体名 (地方公共団体名) | 地域再生計画の名称 | 地域再生計画の 区域の範囲 | 地域再生計画の概要 |
|----|------|----------------------|--|---|--|
| 29 | 新潟県 | 長岡市 | 「復興から地方創生に向けた活気ある地域づくり」～中山間地域の再生モデルとして、東北の復興に貢献～ | 新潟県長岡市の区域の一部(山古志地域、小国地域、栃尾地域及び川口地域) | 過疎化・高齢化が進行した地域での安心な暮らしの継続を実現するため、健康づくりや買い物支援といった生活サービスの向上に取り組むとともに、新潟県中越地震からの復興の象徴である錦鯉の世界展開を切り口とした地域産業の活性化と、地域資源や震災復興の過程で得たノウハウを最大限に活用した住民主体の地域づくりを進め、交流人口の増加から半定住、そして定住へと繋げる「地域活性化モデル」を構築する。 |
| 30 | 新潟県 | 胎内市 | 薬用植物の産業化による農地再生と新産業の創出計画 | 胎内市の全域 | 胎内市は、砂丘地や中山間地域での薬用植物の栽培を推進して、市内全域の休耕地の解消を図り、砂丘地園芸の再生及び中山間地農業の振興に取り組み、薬用植物による6次産業化・高付加価値化のビジネスモデル成立を目指す。 具体的には、甘草食品の機能性評価を行い、販路拡大に向けたエビデンスを確保するとともに、一次加工(乾燥・粉砕)から二次加工(エキス抽出・パウダー化)までを一括で行う施設を整備し、甘草栽培の新規就農者数や加工工場での雇用者数の増加を図る。 |
| 31 | 富山県 | 富山県、南砺市 | 緑あふれる伝統文化の里交流促進計画 | 南砺市の全域及び富山市の区域の一部(旧八尾町) | 計画区域は、「越中おわら風の盆」や「合掌造り集落」等の多くの伝統文化・芸能が受け継がれているが、各々が山間部に散在しており、地域間を結ぶ狭隘な道路が広域観光振興の妨げとなっているとともに、災害時に有効な迂回路も求められている。また、地域の8割を占める森林は成熟期に入りつつあるが、林道ネットワークの未整備により、伐採木の搬出等に支障をきたしている。 このため、市道・林道整備により、広域観光の確立、安全で安心な生活環境の形成及び森林資源活用を総合的に推進し、「緑あふれる伝統文化の里」の実現を図る。 |
| 32 | 石川県 | 石川県 | 石川食文化を活用した産業振興・地域活性化事業 | 石川県の全域 | 豊かな自然と加賀百万石の歴史を背景に独自の食文化を育んだ石川県には、食材や地酒、伝統工芸の器など魅力的な地域資源が豊富に存在し、一次から三次産業まで裾野の広い食関連産業が集積している。人口減少に伴う国内需要停滞への懸念や、世界的な景気動向の影響、石川県自体の知名度の低さ等の諸課題を乗り越えるため、石川県の強みである「食文化」を核として、自治体や企業、高等教育機関などが連携して、石川県の食関連産業が競争力のあるクラスターの構築を目指す。 |
| 33 | 石川県 | 石川県、金沢市、かほく市、津幡町、内灘町 | 「交流と連携による歴史・文化の薫る賑わいの都市づくり」計画 | 金沢市及びかほく市並びに石川県河北郡津幡町及び内灘町の全域 | 本地域は県都金沢市を中心に市街地を形成し、豊かな自然環境と貴重な歴史・文化を有している。北陸新幹線金沢開業による交流人口の拡大などの効果を地域内に波及させるため道路など交流基盤の整備が課題であり、周辺部の山村地域においては林業の活性化や市街地へのアクセス向上が大きな課題となっている。 これらの課題を解決するため、市道、町道及び林道を一体的に整備し、森林保全・林業振興を図ると共に、金沢都市圏を中心とする交通ネットワークの整備を進め、人の流れと林産物の物流を向上させ、地域再生と活性化を図る。 |
| 34 | 石川県 | 石川県、加賀市 | 「豊かな地域資源を活かした魅力ある観光都市づくり」計画 | 加賀市の全域 | 加賀市は、自然、文化、歴史に恵まれた他地域にはない固有の資源を有した温泉観光都市である。しかし、少子高齢化などによる定住人口の減少や観光需要の変化などにより、観光客の減少が生じており、地域資源を活かした広域交流の進展が課題となっている。 このため、市道や林道整備により、都市部との交流を促進し観光客の来訪意識を高めるとともに、人の流れと林産物の物流を促進し、また環境美化活動を積極的に取り組むと同時に汚水処理施設の整備により快適な生活環境を保持し、加賀市全体の活性化を図る。 |
| 35 | 石川県 | 石川県、能登町 | 「いいこといっぱい夢ある能登町」再生計画 | 石川県鳳珠郡能登町の全域 | 本地域は能登半島の北東部に位置し、古くから農林業と漁業が盛んな農山村地域である。体験交流観光や間伐材の利用促進を進め、地域内のにぎわい創出に取り組んでいるが、各市街地内の道路ネットワークに狭隘箇所が存在し、安全性やアクセス性の改善が課題となっている。また、森林については過疎化や高齢化等により、間伐作業が実施されておらず林業振興が深刻化している。 これらの課題を解決するため町道及び林道を一体的に整備し、交流人口拡大や主要産業の活性化を図り「いいこといっぱい夢ある能登町」を目指す。 |
| 36 | 石川県 | 小松市 | 里山の清き流れを守り育てるふるさと再生計画 | 小松市の区域の一部(那谷地区) | 里山の豊かな自然環境を守り育て、ふるさとの美しい川を蘇らせるため、農山村地域における生活排水の適正な処理をすることにより、地域の生活環境の改善と合わせて公共用水域の保全を図る。小松市全域での平成25年度末の汚水処理人口普及率は86.2%となったものの、本地域の汚水処理人口普及率は34.2%と市内でも汚水処理施設の普及が遅れている地域となっていることから、本地域の汚水処理施設整備を推進し、自然環境が豊かな特性を生かしながら地域再生を目指す。 |
| 37 | 福井県 | 福井県、福井市 | 多様な豊かさを実感できる安全・安心・ふくいまちづくり計画 | 福井市の全域 | 福井市は、自動車交通への依存度が極めて高く、安全で安心な交通環境づくりが課題となっている。特に市街地では、冬期間の円滑な交通の確保など、道路を利用する全ての人が安全で快適に移動できる道路整備とともに、中山間地域では林業振興や森林保全を図るため、森林整備の基盤となる路網整備が求められている。 このため、本計画は、市街地や中山間地域の特性に適した整備をすることで、安全で快適な交通環境の形成とともに、地域産業の振興を図り、多様な豊かさを実感できる街づくりを実現し、更なる活力向上を図る。 |
| 38 | 福井県 | 福井県、勝山市 | 「ふるさと勝山 市民力・地域力 増進計画」 | 勝山市の全域 | 勝山市は近年急速に少子高齢化が進行し、基幹産業である繊維産業や農林業も低迷している。その一方で近年は、市内観光施設を活かした観光産業が活況を見せている。 本計画では、市道・林道を整備し、各施設を回遊するための交通アクセス改善と安全の確保を図る。それにより、地域住民の利便性向上と交流人口の増加につなげる。また、環境の啓発・美化活動等に積極的に取り組むと同時に、計画的に汚水処理施設の整備をする。それにより健康で快適に暮らせる生活環境を保持し、若い世代の定住化を図り、「選択されるふるさと勝山」を形成する。 |
| 39 | 福井県 | 福井県三方郡美浜町 | 廃校施設を活かした地域コミュニティ活性化計画 | 福井県三方郡美浜町の全域 | 本町の人口は、平成22年の国勢調査では、10,563人、世帯数3,879戸であり、就業者数は若者の人口流出と高齢人口の増加による労働人口の不足の影響も受け観光業・サービス業を中心とした第三次産業が全体の約7割を占め、第一次産業は1割未満である。 そこで、平成26年度末をもって廃校となる丹生小中学校の校舎を活用したエネルギー環境教育体験施設を整備することにより、「次世代の人材育成」、「本町外とのエネルギー環境教育の交流」等の学習の場が実現され、地域資源の有効活用による生涯学習体制の推進、交流人口の拡大に資することができる。 |
| 40 | 山梨県 | 山梨県、都留市、上野原市、忍野村、小菅村 | 甲斐の国富士東部地域再生計画 | 都留市、大月市及び上野原市並びに山梨県南都留郡道志村、忍野村及び富士河口湖町並びに北都留郡小菅村の全域 | 山梨県の東部及び南東部に位置する富士東部では人口減少及び高齢化の進行に加えて、道のネットワークが未整備であることから北部の雁ヶ腹山や小金沢渓谷等の豊かな自然と葛野川・深城ダム等の観光資源、また世界文化遺産に登録された富士山などの観光資源を十分に生かす地域活力の低下の要因となっている。そのため、市道及び林道の一体的な整備に加えて、情報発信、地域交通対策等の観光に係る取組を行うことにより、林業経営の効率化、観光地間のアクセス利便性を向上させ、観光客の増、森林資源の増などの地域再生を図る。 |
| 41 | 山梨県 | 山梨県、北杜市、甲斐市 | 甲斐の国中北部地域再生計画 | 甲府市、韮崎市、南アルプス市、北杜市及び甲斐市の全域 | 南アルプス、秩父多摩甲斐、八ヶ岳中信高原、八ヶ岳南麓、瑞牆山、金峰山などの山梨百名山の観光地に代表される甲斐の国中北部地域では、人口減少・高齢化が進行し、災害時の避難経路の確保も含めた道整備が十分でないことから観光客の伸び悩みが課題となっている。このため市道、広域農道及び林道を一体的に整備し、観光地のPR、中心市街地整備を行うことによりインターチェンジや幹線道路から観光施設へのアクセス利便性を向上させる効率的な道路網を構築し、効率的な林業経営及び新たな観光客の掘り起こしによる地域の活性化を図る。 |
| 42 | 山梨県 | 山梨県、笛吹市、甲州市 | 甲斐の国峡東地域再生計画 | 山梨市、笛吹市及び甲州市の全域 | 人口減少、高齢化が進行する山梨県峡東地域では、国師ヶ岳、甲武信ヶ岳、西沢渓谷等の豊かな観光資源と桃、ぶどう等の農業生産に代表される豊富な資源に恵まれているものの、地域の道のネットワークの構築が十分でないことから、観光客の伸び悩みが課題となっている。このような状況を改善するため、市道及び林道を一体的に整備し、あわせてハウス花見、鶴飼などの観光イベント、公共交通機関の連携に取り組むことにより、観光地間のアクセスを向上させ、林業生産向上及びさらなる交流人口の増につなげて地域の活性化を図る。 |

| 番号 | 都道府県 | 作成主体名 (地方公共団体名) | 地域再生計画の名称 | 地域再生計画の 区域の範囲 | 地域再生計画の概要 |
|----|------|------------------------|---------------------------------------|---|--|
| 43 | 山梨県 | 山梨県、市川三郷町、早川町、身延町、富士川町 | 甲斐の国峡南地域再生計画 | 山梨県西八代郡市川三郷町並びに南巨摩郡早川町、身延町、南部町及び富士川町の全域 | 峡南地域は山梨県の南部に位置し、南アルプス山岳地域、身延山、下部温泉などの観光地、ダイヤモンド富士などの景観に加えてお茶の生産が盛んであることから観光ニーズとしては高いものの、人口減、農業者の高齢化、後継者不足、さらには道整備の立ち遅れもあって、観光者の十分な増が図られていない。本計画では、町道及び林道を一体的に整備し、観光地のPRや公共交通機関の連携強化に取り組むことにより地域の道のネットワークを構築し、新たな観光ニーズを掘り起こして交流人口の増及び森林資源の有効活用を図る。 |
| 44 | 山梨県 | 富士吉田市 | 富士吉田市「美しい富士の里」水資源保全計画 | 富士吉田市の全域 | 本市は、日本一高く美しい山「霊峰富士」に抱かれ、長年にわたり育まれてきた豊かな森林、清らかな水など素晴らしい自然に恵まれている。しかし、河川の水質汚濁や廃棄物の増大が今日深刻な問題となっているため、平成26年3月に「第2次富士吉田市環境基本計画」を策定し、「市内水域の水質改善の推進」、「地下水の保全」、「水辺に親水化の推進」等を市民、事業者、市が連携・協働して取り組んでいる。そこで、汚水処理施設整備交付金を活用し、公共下水道の整備、浄化槽の普及をより一層促進し、「美しい富士の里」を未来に残していく。 |
| 45 | 山梨県 | 大月市 | アユ踊る清流育む自然豊かなまちづくり | 大月市の全域 | 大月市には、市域の中心を流れる桂川をはじめ、これに注ぐ中小河川が多数あり、有数のアユ釣りのメッカとして、その清流を誇っていた。しかし、近年では、生活の多様化、都市化が進み水質汚濁が目立つようになってきた。また、急速に進む人口減少や高齢化対策は、喫緊の課題となっている。これらの課題に対し、汚水処理施設の整備や地域の美化活動により、自然、生態系の保全と自然浄化機能の回復を図るとともに、アユ釣り大会等の実施により、多くの釣り客を集め、交流人口の増加による地域の活性化を目指す。 |
| 46 | 山梨県 | 韭崎市 | 韭崎市「美しく、人・地域が輝く未来へのものがたり」魅力あるまちづくり計画 | 韭崎市の全域 | 韭崎市は、鳳凰山、茅ヶ岳、甘利山など雄大な山々に囲まれ、これらの山岳から流れる3河川は市民の憩いの場所となっている。その河川の汚濁防止のために、効率的に汚水処理施設の整備を促進し生活環境の整備を図る。併せて、工業団地への企業誘致や史跡新府城跡の整備、堀切橋幅整備、イベント実施等で本市の魅力を高め、快適で活力ある都市の再生を目指す。 |
| 47 | 山梨県 | 北杜市 | 清らかな水資源の保全と活用計画 | 北杜市の全域 | 日本名水百選において白州の尾白川、八ヶ岳南麓高原湧水群と平成の名水百選で金峰山、瑞牆山源流が選定されている。本市の生活環境の向上と併せて、良質米などの農産物を生産するためにも、肥沃な土壌や清らかな河川など自然環境の保全が必要である。このためにも汚水処理施設である下水道及び浄化槽の整備を進め、汚水処理率を向上させ更に泉川水質浄化値のBODを2mg/L以下の目標に掲げる。計画に取り組むことにより、清らかな水資源の保全と活用を目指す。 |
| 48 | 長野県 | 長野県、飯田市 | 山・里・街の魅力あふれる豊かな地域づくり計画 | 飯田市の全域 | 市域の80%以上を森林面積が占める当市では、林業の振興や木質バイオマスエネルギー利用といった森林を活用したまちづくりを進めるにあたり、道整備による木材運搬や森林施業の効率化が求められている。また、「南信州グリーンツーリズム特区」により推進する自然・農業体験、あるいは山の魅力を活かした山岳観光の取組は、林道及び三遠南信自動車道周辺のみ道整備による交流人口の拡大効果が期待される。これら林道及び市道の総合的な整備により地域の資源を顕在化させ、産業振興や交流の促進を通じた持続可能な地域形成の実現を図る。 |
| 49 | 長野県 | 長野県、飯島町 | 自然の中に笑顔が光る地域づくり計画 | 長野県上伊那郡飯島町の全域 | 当町は長野県南部の伊那谷のほぼ中央に位置し、西に中央アルプス、東に南アルプスを望むことのできる風光明媚な町である。町の総面積の72%を森林が占めており、町有林に植林されているヒノキは、木曾ヒノキと遜色ないものである。こうした自然環境の中、町内外の方が安全に通行できる道の整備や、木材運搬の効率化が求められている。また、町内にある里山への登山観光客が増加しており、林道及び町道の総合的な整備により、地域資源を活性化させるとともに、町内住民、また、町外から訪れる人々が笑顔で交流できる地域形成の実現を図る。 |
| 50 | 長野県 | 長野県、阿南町 | きめ細やかな安全性、快適性を高めるまちづくり再生計画 | 長野県下伊那郡阿南町の全域 | 「きめ細やかな安全性、快適性を高めるまちづくり」を掲げ、集落と県道道の幹線道路を結び路線、集落と集落を結び路線、集落とヘリポートを結び路線など、日常生活路線の整備や、平成26年2月の大雪の経験から、幹線道路の迂回路となる路線を整備することにより快適・安全・安心な道路整備と、クラインガルテンや、二瀬キャンプ場などの観光施設に通じる路線を整備することにより、交流人口の増大を図る。 |
| 51 | 長野県 | 長野県、阿智村 | 住民一人ひとりの人生の質を高められる持続可能な村づくりのための地域再生計画 | 長野県下伊那郡阿智村の全域 | 阿智村では、「住民一人ひとりの人生の質を高められる、持続可能な村づくり」を掲げ、子育て支援、健康づくり、観光業をプラットホームにした産業の振興、環境対策、若者定住を重点施策に、歴史・自然・文化・教育・産業・福祉を持続的に維持・発展していく地域社会づくりを進めてきた。地域再生のため、人づくりと地域を結びネットワークづくり、それを支える道路網や施設整備、そしてそこに住んでみたい、住み続けたいと思える環境づくりを目指す。 |
| 52 | 長野県 | 長野県、根羽村 | 地域資源を活かした村づくり | 長野県下伊那郡根羽村の全域 | 当村には森林という大きな地域資源があり、森林を守り育てることにより地域に、林業が「業」として、また、森林の持つ公益的機能が、上流域と下流域の連携により守られていく。本計画では、安全・安心な道路ネットワークを構築し、住民生活の確保と併せて森林資源の活用資する村内の林道・村道を一体的に整備することにより、地域住民や村内を訪れる人達が各施設や体験場所を安全で容易に移動できるようにするとともに、森林を始めそれぞれの地域資源の利用活用をしながら、雇用の拡大と産業の創出を図る事を目指す。 |
| 53 | 長野県 | 長野県、喬木村 | 交流の輪をひろげる村づくり計画 | 長野県下伊那郡喬木村の全域 | 広域基幹幹線道大島氏乗線の開設により木材搬出や森林整備を推進するとともに、生活道路が1本しかない大島地区の袋小路を解消する。村道2号線は喬木村と豊丘村・飯田市を結び主要幹線道路であり、木材搬出車両のアクセス道路でもある。以上の事業により各地域を結び道路ネットワークの整備を図り、交流の輪をひろげる村づくりを目指す。 |
| 54 | 長野県 | 長野県、小谷村 | 美しい自然と豊かな資源を守り活かすまちづくり計画 | 長野県北安曇郡小谷村の全域 | 小谷村は、長野県の北端に位置し、中部山岳国立公園と上信越国立公園に囲まれた自然豊かな村であり、特に観光シーズンには多くの観光客が訪れるなど、村道・林道は観光拠点と結びつける重要な観光道路になっている。また、住民の生活道路でもあり、有事の際は緊急車両のアクセス道路・迂回路になっている。このため、効率的に村道・林道を整備し、各観光施設と連携した誘客を可能とし、交流人口の増加を目指すとともに、住民が安心して暮らせるような「美しい自然と豊かな資源を守り活かす村づくり」を目指す。 |
| 55 | 長野県 | 伊那市 | 自然と人が共生するまちづくり計画 | 伊那市の全域 | 伊那市は、長野県の南部に位置し、市域に南アルプスと中央アルプスの二つのアルプスがそびえる類まれな自然環境を有している。市内を南下する天竜川と二つのアルプスから流下する三峰川等の支流の水質は、下水道への接続の増加や、浄化槽の普及により生活雑排水の流入が減少し、少しずつ改善されてきているが、依然低迷している。このため、公共下水道や浄化槽などの整備を複合的に展開し、自然環境を守りながら、快適な生活環境の創出を図り、二つのアルプスに抱かれた自然と人が共生するまちの実現を目指す。 |
| 56 | 長野県 | 軽井沢町 | 自然を守りながら居心地の良い水環境計画 | 長野県北佐久郡軽井沢町の全域 | 軽井沢町は「国際保健保養地」として自然環境の保全に努めており、水環境の改善に取り組んできているが、現在も定住人口の増加と別荘開発・宅地分譲に伴う水環境の悪化防止が課題となっている。このため、汚水処理施設整備交付金を活用することで、汚水処理施設整備の整備を実施することにより、汚水処理人口普及率の向上、環境負荷の低減を図るとともに、環境ネットワークをはじめとする各種環境保全関連事業への住民参加を促し、自然を守りながら居心地の良い水環境の実現による地域活性化を目指す。 |

| 番号 | 都道府県 | 作成主体名 (地方公共団体名) | 地域再生計画の名称 | 地域再生計画の 区域の範囲 | 地域再生計画の概要 |
|----|------|--------------------|----------------------------------|------------------|---|
| 57 | 長野県 | 富士見町 | 富士見町テレワークタウン計画 | 長野県諏訪郡富士見町の全域 | 富士見町では、移住先での収入(雇用)の確保という移住への不安要素解決のために、従来からの新規就業支援策などに加えて、都会と同水準の安定した収入を得ながら、自然豊かな環境で生活することを可能にするテレワークという働き方を推奨する。 その実現のためにホームオフィスやサテライトオフィスを整備し呼び水とすることで、生産性の高い子育て世代の家族での移住や2地域居住を介して将来的に地方へ生活拠点をうつす移住・定住といった働き方・人の流れを提案する。 |
| 58 | 長野県 | 坂城町 | 潤いのある快適で安全なまちづくり計画 | 長野県埴科郡坂城町の全域 | 坂城町は、長野県の北信地域と東信地域の結節点に位置し、地理的、気候的な好条件を活かしたものづくりのまちとして発展してきた。町の中央を悠々と流れる千曲川の原風景を後世に残すため、下水道事業等を計画的に進めてきたが、約8割の公共下水道の整備と約1割の合併処理浄化槽の整備と依然遅れている。地理的に遅れている最上流地域の南条地区の公共下水道と合併処理浄化槽の整備を計画的に実施し、生活環境の改善を図ることにより、水辺環境を保全し、潤いのある快適で安全なまちづくりを目指す。 |
| 59 | 岐阜県 | 岐阜県 | 技術支援機能の強化によるモノづくり企業の活力再生プロジェクト | 岐阜県の全域 | 社会情勢の変化等により、近年、県内モノづくり企業の活力が低下している。本計画は、県内中小企業が技術開発、課題解決などのため、身近な研究室・分析室として活用している試験研究機関の機能を強化し、様々な課題に対応することができる体制を構築することにより、地域のモノづくり力の再生を通じ、地域活性化に寄与することを目的とする。試験研究機関の機能強化にあたっては、①モノづくり拠点形成事業、②食品関連拠点形成事業、③地域産業拠点形成事業を行う。 |
| 60 | 岐阜県 | 岐阜県、飛騨市 | 豊かな自然環境の持続と安定した暮らしのまちづくり計画 | 飛騨市の全域 | 飛騨市は林業を取り巻く社会情勢の不安から森林整備が進まないことや、市道の道路網の整備の遅れから市民生活に支障を生じており、災害に強い環境整備が望まれている。 このため地域の重要なネットワークである市道及び林道の整備により、間伐による森林整備を推進し災害に強い森林づくりを進めるとともに、豊かな森林資源を活かしてエコ・グリーンツーリズムによる観光客の増加を図り、地元住民との交流、経済効果の持続により豊かな自然環境の持続と安心・安全が実感できるまちづくりを目指す。 |
| 61 | 岐阜県 | 岐阜県、郡上市 | 人と自然が調和したふるさとまちづくり計画 | 郡上市の全域 | 郡上市は、豊かな自然を保全し、住民及び来訪者が訪ねたいまち・輝きたいまち・住みたいまちと感ずる環境づくりを推進するとともに、地域間を連携する道路ネットワークの形成を図り、自然と共生する持続可能なまちづくり、また、既存産業、地域資源、人、道の駅などの交流拠点施設等を生かした自立型産業のまちづくりをめざしている。このため、道路網の効率的な整備により、農林業をはじめとする地域に根ざしたモノづくりの振興を図るとともに自然や歴史・文化など地域資源を活かした、人と自然が調和したまちづくりを推進する。 |
| 62 | 岐阜県 | 岐阜県、関ヶ原町 | 関ヶ原古戦場を核とした広域観光推進計画 | 岐阜県不破郡関ヶ原町の全域 | 「関ヶ原の戦い」の地として、国内外に高い知名度を誇る関ヶ原古戦場を、東海環状自動車道全線開通と関ヶ原合戦420周年を迎える2020年に向けて、観光資源として磨き上げる。史跡整備、眺望機能、ビジターセンターの強化、案内板や標識の充実など、観光客受け入れに向けた環境整備を進めるほか、東海地方や滋賀県など周辺の豊富な戦国時代の歴史資源との連携にも取り組む。更には、ゲティスバーグ古戦場やワーテルロー古戦場との交流を進め、世界3大古戦場として訪日外国人にも関心が高い観光地としての飛躍を目指す。 |
| 63 | 岐阜県 | 岐阜県、揖斐川町 | ずっと住みたい「いびがわ」のまちづくり計画 | 岐阜県揖斐郡揖斐川町の全域 | 本町は、合併まちづくり計画及び第1次総合計画における将来像である「自然と歴史が育むふれあいと活力のある健康文化都市」の実現を目指している。町の喫緊課題として少子高齢化・過疎化があり、その打開策として自然や歴史、地域資源の活用等による移住定住・婚活支援、地域活力の向上を図っている。本計画においては、町道・林道を一体的に整備し、森林等の自然資源を生かすとともに、防災力と町外からのアクセス向上による活力の維持・増大を図り、人と自然が共生し活力に満ちた健康で文化の薫るまちづくりを後押しする。 |
| 64 | 岐阜県 | 垂井町 | 歴史・自然資源の保全と快適な生活環境整備計画 | 岐阜県不破郡垂井町の全域 | 歴史や伝統、自然を基調とした個性と美観あふれる景観創造に努め、環境保全、自然・歴史環境と調和した魅力と誇りのある地域性豊かな本町の実現を目指し、水質の向上、汚水処理人口普及率の増加を図るため、垂井・宮代・東地区等については、公共下水道事業により面整備を、下水道事業認可区域・農業集落排水事業処理区域外の地域については、浄化槽設置整備事業(個人設置型)により整備促進し、生活排水等の処理施設を一体的に整備することにより、生活環境の改善と公共用水域の浄化を推進する。 |
| 65 | 静岡県 | 静岡県、静岡市 | 「都市の発展」と「暮らしの充実」を支える静岡市交流まちづくり計画 | 静岡市の全域 | 静岡市では、『「世界に輝く静岡」の実現』をまちづくりの目標に掲げ、都市地域と中山間地域が一体となり新たな価値を生み出すことのできるまちづくりを進めている。交付金を活用した道路ネットワークの整備を進めることにより、中山間地と市街地とのアクセス改善を図り、地域間の交流を促進し、都市と山村が共生する都市を目指す。 |
| 66 | 静岡県 | 静岡県、浜松市 | 次世代につなぐ天竜美林活用計画 | 浜松市の全域 | 本市では、古くから「天竜材」の産地として栄えている。しかし、近年における林業の衰退は森林所有者の森林経営に対する意欲を減少させているため、中山間地域全体の活力の低下を招いている。そこで、森林資源を市場まで搬出するために骨格となる林道および木材流通に必須となる都市部の市道を充実させることにより、本市の宝である森林資源が有効に活用され、豊かな森林をいかした活力ある地域再生を図る。また、市民一人ひとりの森林に対する意識向上を図ることで価値ある森林を守り育て、そして次世代へ継承する。 |
| 67 | 静岡県 | 静岡県、川根本町 | 川根本町 便利で暮らしやすいふるさとづくり計画 | 静岡県榛原郡川根本町の全域 | 川根本町は、町域の94%を森林が占める山間地である。これまで本交付金の活用により町道、林道の積極的な整備を実施してきたが、公共交通機関の不足している当地域は、引き続き医療・福祉や公共施設へのアクセス改善のほか、農林業や観光産業の活性化が急務となっている。このため、地域再生基盤強化交付金を活用し町道及び林道を整備することにより、農林業の振興及び観光目的で訪問する都市住民との交流を促進しながら、集落と公共施設間のアクセス改善を図り、便利で暮らしやすいふるさとづくりを推進する。 |
| 68 | 愛知県 | 愛知県 | 「産業首都あいち」実現加速化プロジェクト | 愛知県の全域 | 愛知県は、国内最大のモノづくり拠点であり、自動車、航空宇宙、ロボットといった幅広い産業が集積している。一方、企業数の減少や海外進出企業の増加等により、産業空洞化や産業競争力の低下が危惧されている。 そのため、「地域活性化モデルケース」で提案した、競争力のあるモノづくり産業を支える「ものづくりマザー機能」の強化を図るとともに、「戦略産業(自動車、航空宇宙、ヘルスケア、農業)」において各種支援を実施し、地域のモノづくり機能の再生・強化や雇用の安定・拡大を実現する。 |
| 69 | 愛知県 | 愛知県、岡崎市 | 人にやさしく、安全で元気に暮らせるまちづくり計画 | 岡崎市の全域 | 本計画では、近年懸念される局地的な集中豪雨、南海トラフ巨大地震等による自然災害時に必要となる避難活動、緊急車両の移動など、被災時特有の交通需要にも対応するため、橋梁の耐震化や長寿命化を含む道路整備、人口の減少や高齢化に対し、高齢者や子育て世代などの市民が安全にまち歩きを楽しめる、安心して暮らせる環境確保、また水源に位置する広大な森林を保全することにより、森林の持つ多様な機能を活かした防災・減災対策の実施等の事業を総合的、一体的に進めることで、市民が安心して暮らせる持続可能な社会の構築を目指す。 |
| 70 | 愛知県 | 愛知県、豊田市 | とよた「暮らし満足都市」地域交流計画 | 豊田市の全域 | 豊田市は、自動車産業を中心とし全国一位の製造品出荷額を誇り、世界をリードするものづくりの中核都市としての顔を持つ一方、平成17年の市町村合併により、人口や産業が集中する都市部と豊かな自然、歴史、文化が残る農山村部が共存する多様性に富んだ都市となった。本計画では、地域の重要なインフラである道路及び林道の効率的な整備により、都市部と農山村部の活発な交流と推進を図り、農林産物の流通活性化、安全な交通環境の向上を図る。 |

| 番号 | 都道府県 | 作成主体名 (地方公共団体名) | 地域再生計画の名称 | 地域再生計画の 区域の範囲 | 地域再生計画の概要 |
|----|------|--------------------|-----------------------------------|---|---|
| 71 | 愛知県 | 愛知県、新城市 | 「山の湊」しんしろ活性化計画 | 新城市の全域 | 新城市は、道路施設の老朽化、林業の低迷とともに過疎化と高齢化が進行しており、高齢化率が高い。そこで、地域内の森林整備を促進し、三河材(地元材)の利用促進を図るとともに、市町村道の整備により、病院等へのアクセスや高速交通体系インターチェンジ、主要幹線道路へのアクセスを改善することで、生活基盤の強化を図る。 |
| 72 | 愛知県 | 愛知県、愛西市、弥富市 | 自然と都市が調和する心豊かに暮らせるまちづくり計画 | 愛西市及び弥富市の全域 | 愛西市及び弥富市は、水田を中心とした農業が展開され、特に、金魚の流通量としては日本一を、レンコンの生産高としても国内有数を誇っている。しかし、市街地が本区域の南北方向に点在しており、これらをつなぐ基幹道路は市街化調整区域を通過しているため、農道と通過交通との役割が混在している。市道と農道を一体的に整備することにより、大都市近郊にありながら豊かな自然を有する地域特性を生かし、「ゆとり」、「快適」、「便利」、「自然との調和」に配慮したまちづくりを図る。 |
| 73 | 愛知県 | 愛知県、設楽町、東栄町、豊根村 | 水と緑あふれる奥三河活性化計画 | 愛知県北設楽郡設楽町、東栄町及び豊根村の全域 | 北設楽郡3町村を含む愛知県奥三河地域は、道路施設の老朽化、農林業の低迷とともに過疎化と高齢化が進行しており、とりわけ北設楽郡3町村は高齢化率が5割に近い。そこで、地域内の森林整備を促進し、三河材(地元材)の利用促進を図るとともに、広域農道を整備することで、農産物の輸送効率の向上を図るとともに、市町村道の整備により、病院等へのアクセスや高速交通体系インターチェンジ、主要幹線道路へのアクセスを改善することで、生活基盤の強化を図る。 |
| 74 | 愛知県 | 江南市 | みんなでつくる持続可能で快適な生活環境づくり計画 | 江南市の全域 | 公共下水道及び浄化槽の整備を推進するとともに、住民参加による河川の再生・清掃活動の実施など、市民と行政が一体となって水辺環境の再生に取り組むことにより、身近な生活空間を安心して快適に過ごすことができ、また水資源循環が構築され快適な生活環境都市へ一歩ずつ近づいていくことができるような生活環境の創出を目指し、将来の世代へも美しい水環境を引き継いでいけるよう、市民と市役所、みんなで持続可能な生活環境づくりを推進する。 |
| 75 | 愛知県 | 岩倉市 | 住んでい〜わと言われる「健康で明るい緑の文化都市」岩倉創造計画 | 岩倉市の全域 | 岩倉市の市街地の中央を流れる五条川は、ふるさとのシンボルとなる貴重な水辺空間であり、堤防の桜並木は本市の宝として誇るべき地域資源である。また、古くから農業用水としても利用されており、市民の生活と大きく結びついてきた。しかし、本市の汚水処理人口普及率は依然として低く、五条川の水辺環境の再生と生活環境の改善は大きな課題の一つと言える。このため、岩倉市全域における公共下水道と浄化槽の効率的な整備により、「住んでい〜わ」と言われる、質的に充実した「成熟した都市型社会」の形成を目指す。 |
| 76 | 三重県 | 三重県、津市、松阪市、紀北町 | 地産地消運動を支える道路整備計画 | 松阪市並びに三重県多気郡多気町及び大台町、度会郡度会町、大紀町及び南伊勢町並びに北牟婁郡紀北町の全域並びに津市の区域の一部(美杉地域及び一志地域を除く。) | 三重県では、地域で生産された農林水産物・産業に由来するサービスを地域で消費・享受することを通じて、地域住民が、生活、地域のあり方等について見つめ直そうとする運動を「地産地消運動」として展開してきた。当地域の道路網を推進することで、農産物の流通や木材の搬出を促進すると共に、生産物の流通拠点への輸送効率を高め、地産地消運動を支えるための基盤整備を進める。 |
| 77 | 三重県 | 三重県、紀宝町 | 道路ネットワークの整備による安心・安全な住み良いまちづくり計画 | 三重県南牟婁郡紀宝町の全域 | 当地域では、後継者不足による耕作放棄地や未整備森林の増加による国土保全機能や水源かん養機能の低下が見受けられるとともに、高齢化の急速な進展により、熊野川流域の豊かな自然を背景とした文化や伝統の担い手までも不足させ、地域交流の減少による地域活力の低下をきたしている。このため、道整備交付金事業を活用し、町道と林道の一体的な整備により、森林の適正管理の推進と災害時の迂回路の確保、生活道路のネットワークの強化を図ることで、住民の安全・安心な住み良いまちづくりを推進する。 |
| 78 | 三重県 | 伊勢市 | 清らかな森と水のまちづくり、いせの水環境再生計画 | 伊勢市の全域 | 伊勢市は、神宮林や五十鈴川・宮川に見られるような豊かな森林・清浄な水・清涼な空気など自然に恵まれ、また、歴史的・文化遺産を有している。一方、勢田川の汚濁は著しく、平成3年に勢田川流域が「生活排水対策重点地域」に指定され、これまで様々な施策が講じられている。生活排水対策の推進には、公共下水道や浄化槽等の生活排水処理施設の整備が効果的であるため、ハード面では、公共下水道の整備、合併処理浄化槽の設置促進ならびに老朽化した共同汚水処理施設の適正管理に努める。 |
| 79 | 三重県 | 伊賀市 | 環境に配慮した生活環境が整うまちづくり計画 | 伊賀市の全域 | 特に山田南地区は浄化施設が整備されていない区域も多く、台所・風呂・洗濯などの生活排水が側溝を通して川に流れ込み、悪臭の発生と公共用水域を汚す原因となっており、生活環境や農業への影響もあり改善が望まれる。このため、汚水処理施設整備交付金の活用により、農業集落排水及び浄化槽を一体的に整備することで、水洗化の普及促進を図り、豊かな自然と田園風景の中での清潔で快適な生活環境と河川等の水質保全を維持するとともに、併せて伊賀市の基幹産業でもある農業の活性化を推進し、環境に配慮した生活環境が整うまちづくりを目指す。 |
| 80 | 滋賀県 | 守山市 | 「二面性都市守山の課題解決」を実現するための地域再生計画 | 守山市の全域 | 守山市では、市全体としては人口が増えているが、市街化区域において人口増が見られる一方、市街化調整区域においては、人口減が生じている。「公共サービスの需給バランスの偏在」と「公共交通の利用者数減少と利便性低下の負のスパイラル」の2つが課題となっている。「地域の実情に適した公共サービスの提供」と「地域の拠点施設をつなぐ公共交通ネットワーク化」に取り組むことで、課題の解決を図る。 |
| 81 | 京都府 | 舞鶴市 | 自然を育み人の心を豊かにする水再生計画 | 舞鶴市の全域 | 舞鶴市域には、一級河川の由良川のほかに中小河川が市内を貫流し舞鶴湾等に注ぎ込んでいるが、近年のライフスタイルの変化や都市化の進展等により、河川や舞鶴湾の水質汚濁の進行は横ばい状態にあり、素晴らしい舞鶴の自然を守り、次世代へ引き継ぐためには、水質汚濁の大きな原因となっている生活雑排水対策が引き続き重要な課題となっている。このため、下水道や浄化槽等の有する特性や経済性等を総合的に勘案し、地域の実情に応じてより効率的に水洗化を進めることにより、汚水処理人口普及率を向上させ、自然を育み人の心を豊かにする水環境の再生を目指す。 |
| 82 | 京都府 | 綾部市 | 綾部市「住んでよかった…ゆったりやすらぎの田園都市・綾部」再生計画 | 綾部市の全域 | 『住んでよかった…ゆったりやすらぎの田園都市・綾部』の再生を合言葉に、汚水処理施設整備交付金を活用し、関連事業と連携を取りながら、汚水処理施設整備を一層促進するとともに、市民の快適な暮らしの確保をはじめ、公共用水域の水質保全や若者の定着に向けたまちづくり、さらには、近年活発な動きがある都市との交流を深め、『美しい自然豊かなまち綾部』を愛する多くの市民や都市住民と連携し、市内全域の活性化を図ることにより、地域の再生を目指す。 |
| 83 | 京都府 | 宇治市 | 「お茶と歴史・文化の香るふるさと宇治」の創造計画 | 宇治市の全域 | 宇治市は、宇治川の清流や山々のみどり等、豊かな自然環境に恵まれているが、近年の急激な都市化の進行により、本市を取り巻く環境悪化が懸念されている。そこで汚水処理施設整備交付金を活用し、公共下水道整備及び公共下水道の事業計画区域外に合併浄化槽を整備することで公共用水域全体の水質保全を図る。また、ボランティアによる地域美化清掃活動や地域住民によるポケットパーク緑化活動等への支援も行い、市民・行政・事業者が一体となり「お茶と歴史・文化の香るふるさと宇治」の創造を目指す。 |
| 84 | 兵庫県 | 兵庫県、西脇市、多可町、神河町 | 水・緑・人がともに生きるまちづくり計画 | 西脇市並びに兵庫県多可郡多可町及び神崎郡神河町の全域 | 都市地域と多自然居住地域との間で「人・もの・情報」が循環する社会の実現や「美しく活力ある多自然居住地域の創造」をめざし、新しい交通ネットワークを構築することで、多様な主体の参画と協働により、多自然居住の受け入れ態勢の整備や地域活性化に結びつくグリーンツーリズムの一層の推進、地域資源を活用した新しい産業の創出と雇用の場の確保、並びに農林業の活性化を図り、都市と農山村を双方向で行き交う新たなライフスタイルの実現をめざす。 |

| 番号 | 都道府県 | 作成主体名 (地方公共団体名) | 地域再生計画の名称 | 地域再生計画の 区域の範囲 | 地域再生計画の概要 |
|----|------|--------------------|---------------------------------------|--|--|
| 85 | 奈良県 | 奈良県、十津川村 | 人と自然の共生を目指す森林づくり計画 | 奈良県吉野郡十津川村の全域 | 十津川村は、紀伊半島の中央部で奈良県の最南端に位置し、森林と清流、そして温泉に恵まれた山村である。当村では林業の振興を図ると同時に、世界遺産と温泉を中心とした観光開発に取り組んで来たが、村内の道路網は未整備な箇所が多く、村民の生活や観光客の通行に大きな不便をきたしている。このため、交通アクセスを改善することにより、林業の振興と地域環境の改善を図るとともに、観光客の誘致を促進することなどを通じた、活力ある地域の再生を促進する。 |
| 86 | 奈良県 | 奈良県、下北山村、上北山村 | 自然と共存した安全で安心な村づくり計画 | 奈良県吉野郡下北山村及び上北山村の全域 | 下北山村及び上北山村は、吉野熊野国立公園地域に含まれる大峰山より連なる山々や、大台ヶ原を源として、両村を縦断する北山川の豊かな自然に恵まれており、これらの自然を求めて訪れる人々との交流を通じ、地域社会の安定と発展を図り活力を取り戻そうとしている。両村は交通のネックとなっている未改良・未舗装区間や狭路区間、落石等危険箇所の改良を進め、より安全に安心して当地域の交通利用ができるよう道路基盤の充実を進め、安全で安心な村づくりを目指す。 |
| 87 | 奈良県 | 橿原市 | 賑わいのまち・健やかなまちの実現を目指す | 橿原市の全域 | 橿原市には、日本最初の都城があった「藤原宮跡」や、江戸時代の町並みが残る「今井町」など観光資源も多く、道路や鉄道などの交通網が整備されているが、観光客数が伸び悩んでいる。また、市の中央部に立地する「奈良県立医科大学」は、「医学を基礎とするまちづくり」という独自の構想を有している。これらの観光資源や地域特性を活かし、快適な生活環境の実現と歴史的な景観の保全を目指すとともに、観光・交通・医学を組み合わせた一体的な取組みを進めることで、賑わいのある健やかなまちの実現を目指す。 |
| 88 | 和歌山県 | 和歌山県、日高川町 | 安全な道路網の整備、地域産業の振興・若者定住を促進する安全な町の基盤づくり | 和歌山県日高郡日高川町の全域 | 日高川町は古くから恵まれた広大な自然や歴史・文化など個性あふれる地域資源を活かした「自主自立」の意識を持ち、生き生きとした住みよいまちづくりを目指す。そのため、文化や歴史を守り、発展させてくれる人材の基盤となる住宅・宅地の整備、人・物の交流を促進する道路ネットワークの整備、それに伴う災害時における円滑な避難態勢の確保を推進し、便利で安全な街の基盤づくりを進め、また産業の振興を積極的に図り、地域社会の自主自立を目指す。 |
| 89 | 和歌山県 | 和歌山市 | 国際広域観光拠点都市和歌山市再生計画 | 和歌山市の全域 | 本市のシンボルである和歌山城を核として、これまで培ってきた和歌山固有の歴史・文化を活かしてまちの個性や魅力を発揮するとともに、市内に点在する名所・旧跡や、高野山やたま駅長など外国人観光客に人気の高い観光資源との連携と相乗効果を通じて、ひと・まち・文化がつながる国際広域観光拠点都市の実現を図り、観光産業の振興、地域経済の活性化、ひいては賑わいのある魅力的な城下町の再生につなげる。 |
| 90 | 鳥取県 | 鳥取県、智頭町 | 豊かな自然を活かしたまちづくり | 鳥取県八頭郡智頭町の全域 | 智頭町は面積の9割以上が山林で、スギをはじめとする見渡す限りの緑が一面に広がっている。智頭林業の植樹の歴史は350年以上といわれ、町内には「慶長スギ」と呼ばれる樹齢300年以上の人工林が残り、全国的に高い評価を受けてきた。しかし、近年、木材価格の低迷や林業従事者の高齢化・後継者不足により林業が衰退傾向にある。このため、町道、林道を整備することにより、豊かな自然を活かした産業の振興及び間伐等の施業を効率的に行うためのネットワークを図る。これにより、地域再生を目指す。 |
| 91 | 鳥取県 | 鳥取県、八頭町 | 人と自然が共存する森づくり計画 | 鳥取県八頭郡八頭町の全域 | 八頭町は古くから農林業が盛んで、現在も稲作を中心に、梨、柿、りんごなどの果樹栽培も盛んに行われている。しかし、少子・高齢化が進行し、農林業の後継者不足に加え木材産業低迷の影響が大きく、林業が衰退傾向にある。このため、町道、林道を一体的に整備することにより、地域に広がる農地・森林・レクリエーション施設を接続しネットワークを図る。これにより、「人と自然が共存する森づくり計画」をテーマに地域再生計画を目指す。 |
| 92 | 鳥取県 | 鳥取県、三朝町 | 安全で安心して暮らせるまちづくり活性化計画 | 鳥取県東伯郡三朝町の全域 | 三朝町は、鳥取県のほぼ中央部に位置し、総面積は233.46km ² の豊かな自然を有する地域である。平成26年3月に「三徳山」が国立公園に編入されるなど、自然と連携した温泉を生かした観光業や農林業が基幹産業の中山間地域である。現在、生活者重視のまちづくり、農林業の活性化、三朝温泉を新しい温泉街に創造していくことが急務となっている。これらの地域資源と観光を有機的に結びつけるために、地域内の町道・林道の改良、修繕を実施し、生活環境の整備を促進することで、地域住民の利便性の向上と観光業の振興を図る。 |
| 93 | 鳥取県 | 鳥取県、日南町 | 日南の豊かな森林の恵みを活かしたまちづくり計画 | 鳥取県日野郡日南町の全域 | 町土の9割が森林という日南町にとって、豊かな森林資源をいかに有効活用するかが、林業・木材産業を主産業として地域経済を活性化させる鍵となる。そこで有数の林業地帯である窓山地区の森林基幹道窓山線の整備推進と町内にある新木材団地へのアクセス道となる林道内方線及び町道内方線の整備を図ることで同地区内の森林整備の促進と新木材団地へのアクセス改善を図る。本地域再生計画の実現により、豊かな森林資源が有効活用され地域経済が活発化することで林業・木材産業が一大産業化し、「森林」が生活の糧となることを目標とする。 |
| 94 | 島根県 | 島根県、松江市 | 島根半島東部地域再生計画 | 松江市の区域の一部 (旧鹿島町、旧島根町及び旧美保関町並びに橋本地区) | 松江市北部に位置する島根半島東部地域は、日本海と中海、宍道湖に挟まれた急峻な山すそにある集落で形成されている。市中心部までの幹線(県道)の整備は進みつつあるが、地域内及び地域間道路の整備が遅れている。この地域は、過疎化が進みつつあり、中には限界集落になっている集落もある。このような状況を改善するために、地区内道路の整備をし住環境を改善するとともに、林道を整備し森林資源の活用、観光資源の活用を図り、若者が定住出来る様に地域を再生する。 |
| 95 | 島根県 | 島根県、美郷町 | 「安全・安心な山村のくらし5つ星の町」再生計画 | 島根県邑智郡美郷町の全域 | 美郷町の産業発展は厳しい状況であるが、町民にとって安全で安心して暮らして行く上で、生活道となるアクセス道の整備を行うことはきわめて重要である。また、近年の予想を上回る少子高齢化の進展により、コミュニティのあり方、災害時の安全の確保、必要な社会サービスの提供に問題が生じ、町民の一日行動圏の縮小、地域活力の低下が懸念される。これらの問題を総合的に解決するため、地域生活や物流を支える町道及び林道の一体的な整備を実施することで「安全・安心な山村のくらし」の実現を図る。 |
| 96 | 島根県 | 島根県、邑南町 | Oh! なんと夢響きあう元気の郷づくり計画 | 島根県邑智郡邑南町の全域 | 基幹林道と町中心部を横断する幹線町道や旧町間を連絡する路線を一体的に整備し、広大な区域となった新町内の移動環境を改善し定住促進を図る。又、林道から幹線道へ接続する地域生活道を整備することにより農林業経営の効率化を図る。この路線整備により町内各所にある社会福祉施設、病院、観光施設へのアクセスを向上させ、新たな産業の創設等、地域経済活性化による地域再生を図る。 |
| 97 | 島根県 | 出雲市 | 出雲市「豊かな水環境」再生計画 | 出雲市の全域 | 出雲市は、豊かな汽水域と海に囲まれているが、生活様式の変化と人口集中のため、水質汚濁がなかなか改善しない状況にある。水環境の改善は水田、ぶどうなどの果樹の生産地域としてのイメージアップにも貢献し、豊かで清浄な水環境を資源のひとつとした観光地域としての魅力を高めるものである。そのため、生活排水対策として水環境の改善、快適な暮らしの実現、観光の振興に不可欠である污水処施設の整備を一層促進して住環境を改善するとともに、更なる豊かな水環境の再生を目指す。 |
| 98 | 岡山県 | 岡山県、美咲町 | 「元気」な美咲町地域活性化計画 | 岡山県久米郡美咲町の全域 | 美咲町は、国道53号・国道374号・国道429号が整備されており、本町の北部に位置する津山市には中国縦貫自動車道が横断し、都市圏からのアクセスは容易であるが、基幹町道網の整備が進んでいないため、観光拠点を十分に活かされておらず、観光客が伸び悩んでいる。このため、町道、林道の一体的な整備を行い、地域住民の利便性向上を図る。また、道路の改良を行うことで、森林の整備を進めることが出来ることと共に、効率的な森林施業の推進及び、優良木材の搬出時の安全な通行を確保する。 |

| 番号 | 都道府県 | 作成主体名 (地方公共団体名) | 地域再生計画の名称 | 地域再生計画の 区域の範囲 | 地域再生計画の概要 |
|-----|------|--------------------|----------------------------------|---|--|
| 99 | 岡山県 | 岡山市 | おかやま水と生活再生計画 | 岡山市の全域 | 岡山市では、市民の環境意識啓発に向けた「環境学習事業」、「環境パートナーシップ事業」等を推進し、一方公共下水道、農業集落排水、合併浄化槽により水環境の保全に努めてきた。しかし平成25年3月末現在の汚水処理人口普及率は79.3%にとどまっておらず、生活環境の向上、河川・海域の環境保全として、汚水処理施設の早急な整備が岡山市全体の課題となっている。本計画では、都市部周辺や農山村地域の汚水処理施設整備の促進を図ることにより、良好な居住空間の形成と水環境の保全と回復を進めることで地域発展を目指す。 |
| 100 | 岡山県 | 津山市 | 光る水しぶき、自然ゆたかな環境共生都市再生計画 | 津山市の全域 | 津山市は岡山県北東部に位置し、中国山地の森林の間を吉井川が流れる自然豊かな町である。まちづくりの一環として「美しい自然と快適空間の形成」を掲げて、市内面積の多くを占める森林を水源涵養、国土保全の観点から整備すると同時に、河川の水質浄化のため生活排水や産業排水の適正な処理を図る施設整備に取り組んできたが、汚水処理人口普及率は平成25年度末で53.6%と依然低い。このため引き続き汚水処理施設の整備を促進するとともに、環境教育の場や森林レクリエーションの場を整備し、豊かな自然環境や景観を保全して自然の恵みを享受する喜びが実感できるまちづくりによる地域再生を目指す。 |
| 101 | 岡山県 | 井原市 | キラリと輝く清流のまちづくり計画 | 井原市の全域 | 本市では、快適で安全な生活環境の確保、河川など公共用水域の水質保全のために欠くことができない汚水処理施設の整備を推進してきたが、汚水処理人口普及率は65.4%(平成25年度末)であり、依然全国平均、県平均に比べ低い水準となっている。このため、今後も汚水処理施設の整備を計画的に進めることにより、質の高い生活環境の整備と公共用水域の水質保全を図るとともに、自然とのふれあいの場の創出事業や家庭排水対策の広報・啓発事業等により、市民一人ひとりが環境や資源を大切にすることを育み、キラリと輝く清流とやすらぎのある定住のまちづくりを目指す。 |
| 102 | 岡山県 | 里庄町 | 「さとしよう」未来につながる水環境再生計画 | 岡山県浅口郡里庄町の全域 | 里庄町は岡山県西南部、水島工業地帯と備後工特区との中間に位置し、そこで働く従業者のベッドタウンとなると同時に、工作機械、食品製造、電子部品、製菓等の企業の進出もあり、町自体も活性化している。しかし、こうした産業活動の活性化や生活様式の変化により、環境悪化が目立っており、快適で住みよい町づくりを目指している本町としては、汚水処理施設を重要な生活基盤と捉え整備を進めている。他自治体に比べ汚水処理施設の普及率が低いと、さらなる普及率向上に向け整備を進める。 |
| 103 | 岡山県 | 矢掛町 | 人にやさしい快適な環境のまちづくり計画 | 岡山県小田郡矢掛町の全域 | 矢掛町では、「やさしさにあふれ かいてきて げんきなまち(グッドコミュニケーションタウン)」をまちの将来像とし、その実現を目指し、総合的・計画的なまちづくりに取り組んでいる。この取り組みをさらに進め、文化的で快適な生活空間を創造するために、汚水処理人口普及率向上及び下水道事業の効率化を目標として、公共下水道事業、合併処理浄化槽設置整備事業の2事業を有効に活用し、快適で住みよい生活環境の整備を図る。 |
| 104 | 岡山県 | 鏡野町 | 鏡野町「快適な生活環境の里づくり」計画 | 岡山県苫田郡鏡野町の全域 | 鏡野町は岡山県三大河川の一つである吉井川の源流を有する「清流の町」だが、生活環境の変化により水棲生物の減少傾向が続いている。また典型的な中山間地域であり、過疎化・高齢化など人口減少にも歯止めがかからない状態である。汚水処理施設の整備を進めることにより河川水質の向上と住みよい生活環境の町とすることで地域の再生を図る。 |
| 105 | 岡山県 | 久米南町 | 「美しい自然と協働のまちなみ」清流再生計画 | 岡山県久米郡久米南町の全域 | 久米南町に住む人、久米南町の出身者、観光で訪れた人など、久米南町に関わる全ての人にとってすばらしいまちになるよう、今後のまちづくりを町民とともに考え、総合的かつ計画的に推進することを基本目標とし、各種施策に取り組んでいる。とりわけ、水環境の整備は最も急務ととらえ、第5次久米南町振興計画にて積極的な取り組みを盛り込み、町全域を対象に公共下水道による集中処理方式の接続促進と合併処理浄化槽による個別処理方式を組み合わせ、早期の水洗化率の増加を図る。 |
| 106 | 広島県 | 広島県 | 瀬戸内の歴史や多島美の魅力の世界に向けて発信するみなとづくり計画 | 呉市、廿日市市及び江田島市の区域の一部(厳島港、小用港、釣土田港及び音戸漁港) | 本地域は、瀬戸内の歴史や多島美の魅力があふれる地域であり、「瀬戸内しまのわ2014」等の取り組みにより、国内外からの観光客の誘致に取り組んでいる。しかし、利便性の高い係留施設等が不足しており、観光振興や地域の産業活動に支障が生じている。このため、係留施設等の整備を行い、観光客の増加や地域産業の支援により、地域の活性化を目指す。 |
| 107 | 広島県 | 広島県 | 地場産業が息づく活力と観光で賑わいのあるみなとづくり計画 | 福山市の区域の一部(千年港及び横田漁港) | 本地域は、瀬戸内海の絶景が連なるしまなみ海道や瀬の浦など自然に恵まれた観光名所が多く、漁業や造船業などの地場産業で賑わっている。しかし、漁業者が使用する浮桟橋や防波堤等の劣化が著しく進行している影響で、施設利用の安全性を確保することが急務となっている。このため、係留施設等の整備を行い、施設利用者の安全性・利便性の向上を目指す。 |
| 108 | 広島県 | 広島県、竹原市 | 安全・安心せとうち海の路ネットワークの創出計画 | 呉市及び竹原市並びに広島県豊田郡大崎上島町の区域の一部(蒲刈港、蘇崎港、沖浦漁港及び吉名漁港) | 本地域は、大小幾多の島々が点在する豊かな自然に囲まれた地域であり、古くから水産業を中心に発展してきた。また、一部は離島のため、海上交通の要路として重要な役割を果たしている。しかし、定期航路が発着する浮桟橋や漁船が停泊する浮桟橋が著しく劣化しているため、係留施設等の整備を行い、施設利用者の安全性・利便性の向上を目指す。 |
| 109 | 広島県 | 広島県、三次市、庄原市 | 道路ネットワークを中心とした備北地域再生計画 | 三次市及び庄原市の全域 | 三次市及び庄原市については市街地から周辺集落に至るアクセス道を早急に整備し、生活環境の向上を図る必要がある。また、林業の停滞による未整備森林の増加等、森林整備のための林道整備は重要課題となっている。他、農産物の流通条件が地域間によっては困難な箇所があり、農道等を早急に整備する必要がある。このため、市道、林道及び農道の効率的な整備により、地域の道路ネットワークを構築し、生活環境の向上、林業振興及び農産物の生産性、輸送体系の向上を図る。 |
| 110 | 広島県 | 広島県、北広島町 | 道路ネットワークの構築による芸北地域再生計画 | 広島県山県郡北広島町の全域 | 高齢・過疎化が進む中、北広島町において、停滞している林業の森林整備、林業振興のための林道整備、農産物流通の拡大のための農道整備を図り、農産物の販売を促進させることで農業振興を図るとともに、町道の整備により、役場、病院へのアクセス改善を図る必要がある。このことから、農林道、町道を効率的に整備し、健全で活力のある森林の整備と活気あふれる農村環境の創造を推進する。 |
| 111 | 広島県 | 広島市 | 「水の都ひろしま」美しい水環境創出計画 | 広島市の全域 | 広島市は、中四国地方の中核都市として発展し、緑豊かな山々や大田川のデルタを流れる6本の川に恵まれた「水の都」である。このような都市景観を有する広島市において、特に市街地・区域外の地域は、市街地・区域内の地域と比べて生活排水処理施設の整備が十分ではないため、特定環境保全公共下水道、農業集落排水処理施設及び市町村設置型浄化槽の3つの施設を連携させ、効率的・効果的に整備を行うことにより、生活環境の改善及び良好な水環境の保全を図るとともに、住民が健やかで豊かな生活を享受できる活力ある地域づくりを目指す。 |
| 112 | 広島県 | 尾道市 | 尾道市「快適に暮らせるまちづくり」計画 | 尾道市の全域 | 尾道市は、瀬戸内海の交通の要衝として繁栄をとり、尾道水道、点在する寺院、歴史を凝縮した景観は尾道ならではの美しさを醸し出しているが、沿岸部に密集した市街地が形成され、河川に沿って市街地が拡大し、生活排水の汚濁は海域にまで及び、その解消のために公共下水道事業等を実施しているが、未だ不十分な状況にある。汚水処理施設整備を一層促進するとともに自然環境や歴史・文化資源を活かした美しい景観の形成及び保全を図り、尾道市総合計画で目標としている、日常生活の快適性の向上を図る。 |

| 番号 | 都道府県 | 作成主体名 (地方公共団体名) | 地域再生計画の名称 | 地域再生計画の 区域の範囲 | 地域再生計画の概要 |
|-----|------|--------------------|-----------------------------------|--|---|
| 113 | 徳島県 | 徳島県、阿南市、那賀町 | 新時代を迎える那賀川流域の農林業を支援するまちづくり計画 | 徳島県那賀那賀町の全域及び阿南市の区域の一部(新野町) | 本地域は、県の南東部に位置し、地域の8割を森林が占める中山間地域であり、高度経済成長の始まりとともに、人口流出が進み、現在も人口減少が続いている。地域の基幹産業は農林業であり、特に林業においては古くより優良大径材を供給してきたが、市場価格の低迷や生産資材のコスト増などから、従事者も減少している。このため、道整備交付金を効果的に活用し、地域内の道路のネットワーク化を行い、輸送労力の節減とともに、集落の孤立化防止も図ることで、地域住民が安心して豊かに暮らせるまちを目指す。 |
| 114 | 徳島県 | 徳島県、三好市、東みよし町 | 「住んでよし、訪れてよし」が体现できるまちづくり計画 | 三好市及び徳島県三好郡東みよし町の全域 | 三好市と東みよし町の当該地区は、豊富な森林資源を活用した林業が地域の基幹産業であるが、高齢化や過疎化等により総合的な活力の低下が懸念されている。一方、豊かな自然を背景とした観光施設が豊富に存在し、こうした地域資源を活かして、都市との交流拡大による地域活性化策に取り組んでいるが、アクセス道である市道・林道・農道については幅員狭小・線形不良など整備の遅れが著しく、道路の整備が急務となっているため、道整備交付金による整備を行い、「住んでよし、訪れてよし」が体现できるまちづくりを推進する。 |
| 115 | 徳島県 | 阿波市 | 食・農・水が共存する活力あるまちづくり計画 | 阿波市の全域 | 農業集落排水施設については、処理施設の機能向上及び管渠の整備を行い、水質の向上を図る。浄化槽については、単独処理浄化槽を合併処理浄化槽へ設置替えをメインとして考え、新築または建て替え等と合わせて年間150基設置するよう普及促進に努めている。 また、市民の水環境に対する意識の改善に併せて努めていく。 これらの汚水処理事業に加え、地場農産物の品質の維持管理や学校給食への安心で安全な農産物の供給、それらを食べることもたちの食育を育むとともに生産者の生産意欲の向上を図り、本市の農業の活性化を図る。 |
| 116 | 愛媛県 | 愛媛県、今治市、上島町 | しまなみ、ゆめしま、とびしま 3海道を支える港づくり計画 | 今治市及び愛媛県越智郡上島町の区域の一部(伯方港、宮窪漁港、小大下漁港、宗方漁港及び鯨漁港) | 芸予諸島に属した当該地域には、島々を自転車で行くことができる長大橋梁で結ばれた「しまなみ海道」「ゆめしま海道」とびしま海道の3つの海道がある。これらの海道にはアーチ橋、斜張橋や吊り橋等、多種多様な長大橋がひしめき、世界屈指の長大橋密集地帯となっており、近年のサイクリングブームや関係自治体のPR効果もあってか、サイクリストや観光客は増加傾向にあり、地域は賑わいを見せている。この賑わいを持続するために小型船だまりの整備や浮桟橋改良を実施し、航路利用の安全確保や水産業振興等を図る。 |
| 117 | 愛媛県 | 愛媛県、八幡浜市 | 「安全・安心なまちづくり」八幡浜みなと再生計画 | 八幡浜市の区域の一部(八幡浜港及び大島漁港) | 老朽化した八幡浜港のフェリーバースの耐震化整備と大島漁港の離島航路の発着場である浮防波堤の更新を行い安全性・利便性を確保する。これにより、両港の災害時における生活物資及び住民搬送等の防災機能の強化を図る。また、その他の地域再生に関連する事業と連携し、離島を含め地域が一体となって、みなとを中心とするまちづくりを進め、水産業の振興を図るとともに物流、観光の交流拠点として発展を図り、「みなとまち」八幡浜の再生を目指す。 |
| 118 | 愛媛県 | 愛媛県、大洲市 | 水源地域の再生・活力あるまちづくり計画 | 大洲市の区域の一部(肱川町山鳥坂) | 車以外の交通手段を持たない地域において快適性や安全安心の生活を確保するため、山鳥坂ダム建設工事に伴い付替えられる県道を基幹道路として位置付け、それに接続する市道及び林道の整備を行うことで、利便性の向上や緊急車両の円滑な通行、災害時における避難経路の確保を図る。 |
| 119 | 愛媛県 | 愛媛県、西予市 | せいの創生 地域資源と産業を守り、地域間をつなげるまちづくり計画 | 西予市の区域の一部(宇和町、野村町及び城川町) | 市政発足後、市域一体のまちづくりに取り組んでいる中、県下第2位の面積を有する西予市にとって、道路交通網の整備は依然として重要な課題である。行政の本庁方式への移行をはじめ、市の機能が中心部に集中しつつある現状において、山間部に点在する集落間の交流や中心地までの利便性向上は、益々必要とされる。このため、国道、県道へのアクセス道路として幹線的に利用している市道、林道を効果的に整備し周辺部の活性化を図ると共に、林産業の振興に寄与する事で、自然環境が保たれた住み良い快適なまちづくりを目指す。 |
| 120 | 愛媛県 | 愛媛県、久万高原町 | 地域ブランド力向上で元気回復計画 | 愛媛県上浮穴郡久万高原町の全域 | 町の総面積583.66km ² の約90%を占める山林、その約80%が人工林という先人が残した地域最大の資源を生かし、「木材のまち・林業のまち久万高原町」というブランド力の復興を目指すため、森林の血管ともいえる林道及びそれにつながる町道を継続して整備することで、森林の管理及び整備促進による雇用の確保もさることながら、一般にも広く認知されるよう圧縮的な木材の生産量及び山林の適正管理による環境の保全を目指し、林業に関わるもののみならず、全町民が自慢できるまちを取り戻すことを目指す。 |
| 121 | 愛媛県 | 愛媛県、愛南町 | 豊かな自然環境と共生し快適に暮らせるまちづくり計画 | 愛媛県南宇和郡愛南町の全域 | 愛媛県の南端に位置する愛南町は、足摺宇和海国立公園に属するリアス式海岸や、篠生をはじめとする緑豊かな山々など豊かな自然に恵まれている。本町では住民生活に欠かせない道路の整備がされており、過疎化や高齢化を進行させる原因にもなっている。また、豊かな山や海を守るため、間伐等の森林整備による森林機能回復や適正な管理が求められている。このため、道整備交付金を活用して、町道と林道を効率的に整備して定住化を促進し、恵まれた自然環境を保全しながら安全に安心して暮らせるまちづくりを推進する。 |
| 122 | 高知県 | 高知県、安芸市 | 山と緑あふれる元気な安芸市再生計画 | 安芸市の全域 | 本市は海と山に囲まれた高知県東部の市であり、森林面積は約89%を占める。過疎高齢化、景気の低迷により森林の荒廃や耕作放棄地の増加が今後ますます深刻となることが予想される。このため、市道・林道の一体的な整備により、市内中心部からのアクセス改善・効率的な森林施業を実施し林業の振興を図る。またそれに伴い、交流人口の増加を図るべく、「協働の森づくり事業」等の、本市の資源を有効活用できるイベントを通じて、都市との地域交流を図り、活性化を図る。 |
| 123 | 高知県 | 高知県、大川村 | 小さくても元気な村づくり計画 | 高知県土佐郡大川村の全域 | 県道17号線が地域の基幹道路であり、それらに接続する村道において一体性、利便性の高い道路網の整備により時間距離の短縮を図るための改修を行う。 また、豊富な森林資源を活用し、間伐等の森林整備を効率的に行うためには基盤となる林道の整備が必須であり県営林道を整備する。 その他関連事業として、間伐補助事業等の導入による森林整備を推進するとともに、地域資源を有効活用した地域間交流人口の増加により地域の活性化を図る。 |
| 124 | 福岡県 | 福岡県、久留米市、小郡市 | 人・自然・地域をつなぐ広域まちづくり計画 | 久留米市及び小郡市の全域 | 久留米市は、人口約30万人の中核都市である。耳納山系鷹取山を中心とした豊かな自然に恵まれており、自然環境の保全が重要な課題となっている。久留米市及び小郡市の人口は減少傾向にあり少子高齢化も進んでいるため、両市共に道路網の構築を始めとした住環境の整備が求められている。そこで広域的な道路網の推進を図るため、市道及び林道の整備を行い、地域の観光資源を活かし住民同士の交流、さらには定住を促進し、「人・自然・地域をつなぐ広域まちづくり」の実現を目指す。 |
| 125 | 福岡県 | 福岡県、古賀市 | 古賀市未来に引き継ぐ水辺環境づくり計画 | 古賀市の全域 | 古賀市は、周囲に西山、玄界灘を臨み、大根川が大地を潤し、豊かな農村環境及び集落を形成しているが、近年、各家庭の生活雑排水が集落内の農業用水路に排出されており、水質汚濁が進行している。 本計画では、環境負荷を軽減しつつ、衛生的な住環境と農業育成支援のため、農業集落排水施設及び合併処理浄化槽を総合的に整備し、住環境と産業のバランスがとれた未来に引き継ぐ水辺環境づくりを目指す。 |
| 126 | 福岡県 | 福岡県、うきは市 | 人がいきいきする産業振興と過ごしやすい生活基盤整備のまちづくり計画 | うきは市の全域 | 本市では、林業経営の悪化及び山村地域の過疎高齢化から林業生産事業の衰退及び森林の荒廃が懸念されている中で施業集約化、高性能機械の導入に取り組み、作業効率化や生産コストの低減を図る林業経営を目指している。このため、既設林道等と連絡する骨格となる林道を整備するとともに、市道を含めた道路ネットワークを整備することで、主要道路へのアクセス向上や災害時のバイパス道路を確保することで住民が過ごしやすいまちづくり整備を図る。 |

| 番号 | 都道府県 | 作成主体名 (地方公共団体名) | 地域再生計画の名称 | 地域再生計画の 区域の範囲 | 地域再生計画の概要 |
|-----|------|--------------------|-------------------------------------|--------------------------------------|--|
| 127 | 福岡県 | 福岡県、嘉麻市 | 豊かな自然に育まれたふれあいと安心のまちづくり計画 | 嘉麻市の全域及び福岡県田川郡川崎町の区域の一部(安真木地区) | 現在、林業生産事業の停滞及び森林の荒廃が懸念されている中、森林施業の集約化、林業機械化の促進に取り組み、森林施業の効率アップや生産コストの低減を図り、生産性の高い林業経営を目指している。 このためには、既設林道等と連絡する骨格的な林道を整備し、路網ネットワークを形成させるとともに、森林の総合利用の推進も図ってきたい。さらに、市の中心部から市民の生活拠点及び林道に接続する市道の整備が遅れていることから、市道の整備を図り、豊かな自然とふれあい安心して暮らせるまちづくりをテーマに再生計画を図る。 |
| 128 | 福岡県 | 福岡県、糸島市 | きつと満足糸島生活水環境再生計画 | 糸島市の全域 | 糸島市は、福岡県と交通利便性が高く、海と山、田園風景が豊かで、農水産物、芸術工房及び社寺仏閣、史跡も含めた糸島ブランドの確立と九州大学と連携したまちづくりを目指している。しかし、農水産物や汚水処理施設の未整備地域における生活雑排水の流入による河川及び農業用水路の水質汚濁と、若年層の市外流出による少子高齢化及び基幹産業の農業後継者不足が大きな課題である。 このため、汚水処理施設整備交付金を活用し、農業集落排水施設及び浄化槽の整備を行うとともに、定住化を促進し「きつと満足糸島生活」のまちづくりを目指す。 |
| 129 | 佐賀県 | 佐賀県、唐津市 | 自然と調和した生活・産業・観光・交流拠点の有機的な連携によるまちづくり | 唐津市の全域 | 唐津市は、北西から南東にかけて海、台地、居住地、川、山の資源があり、9市町村の合併により1つの中心拠点と8つの生活拠点が形成されている。これらの拠点をつなぐように、唐津風景街道の重要ルート(通称8の字ルート)を設定し、このルート周辺には多数の自然と調和した観光資源が点在している。市道・林道の一体的な整備により、海から山までの各拠点の有機的な連携を実現するとともに、住民の生活環境の改善を図るための汚水処理整備を同時に行うことにより、活力ある産業振興や観光交流による地域活性化を図る。 |
| 130 | 佐賀県 | 佐賀県、伊万里市 | 『いまり』の多様な地域づくりのための道づくり計画 | 伊万里市の全域 | 人口減少、高齢化が進行し、特に農山漁村集落においては過疎化や農林業の後継者不足による耕作放棄地の増大、山林の荒廃など様々な問題を抱えており、集落としての形成存続にも大きな影響を及ぼしている。 市内の多様な道路による地域間道路ネットワーク網を整備することで、交通の利便性はもとより、緊急時の避難道路の確保など地域への安全安心の提供や切捨て間伐から撤出間伐への転換による林業振興を図るとともに、産業、観光、文化、交流など多様な地域づくりの促進を支援する。 |
| 131 | 佐賀県 | 多久市 | 次世代に継承できる快適な水環境づくり多久 | 多久市の全域 | 本市は、県のほぼ中央で周囲を山に囲まれ中央を一級河川牛津川及びその谷底に沿って支川が合流し平野と、なだらかな丘陵部で構成され自然に恵まれた環境にある。市では、人と自然が共生できる環境づくりのため汚水処理施設の整備を進めてきたが、汚水処理人口普及率は52%と低く、市街地における水質汚濁がまだ大きな課題となっている。 このため、汚水処理施設整備交付金を活用し特に市街地を効率的に整備し、生活環境の改善と公共用水域の水質保全を図り、もって次世代に継承できる快適な水環境づくりを目指す。 |
| 132 | 佐賀県 | 神崎市 | 「自然と歴史と人々が光輝く都市」再生計画 | 神崎市の全域 | 本市では水資源を活用した第一次産業が基幹産業となっており、史跡、文化遺産に恵まれ、遊歩百選の認定を受けた地域資源豊かなまちである。しかし、汚水処理人口普及率が68.4%(H25年度末)と低く、未整備地区においては、近年の生活様式の変化に伴う生活雑排水の増加により河川等の水質汚濁が進行している。このため本計画で汚水処理施設を整備して快適な住環境の確保と公共用水域の水質保全を図る。また、行政と地域住民が一体となり、恵まれた自然の再生と居住環境の向上に努め、地域に暮らす人々が生き生きと光輝くまちづくりを目指す。 |
| 133 | 佐賀県 | 白石町 | 活気と魅力ある快適な住みよいまちづくり計画 | 佐賀県杵島郡白石町の全域 | 白石町は、佐賀県の南西部に位置し、西に杵島山系、北に六角川、南に塩田川、南東部に有明海に囲まれた農・漁業が基幹産業のまちである。近年の生活水準の向上と産業活動の発展に伴う家庭排水や産業排水が、集落住環境の悪化や農作物の生育障害のみならず、町の景勝へも影響をおよぼしている。このため、特定環境保全公共下水道及び浄化槽(個人設置型)の整備を促進することにより、生活環境の改善や公共用水域の水質改善を図り、活気と魅力ある快適な住みよいまちづくりを目指す。 |
| 134 | 長崎県 | 佐世保市 | 「人と自然が共生するまち」佐世保水環境再生計画 | 佐世保市の全域 | 本市は、多くの希少な動植物が生息している外洋性多島海・九十九島や閉鎖性水域・大村湾に面しているが、未だに生活雑排水の約3割が未処理のまま公共用水域に排出されているため水質への影響が懸念される。そこで、市民共有の財産である豊かな自然環境を守り後世に受け継ぐことのできるまちを目指すため、公共下水道や浄化槽の整備を一体的に行うことにより、公共用水域の水質保全及び自然環境や生活環境の改善を図るとともに、観光地域づくりの推進など関連する事業を行うことにより、人と自然が共生するまちづくりに寄与する。 |
| 135 | 熊本県 | 熊本県、八代市、五木村 | やすらぎと活力に満ちた八代・五木地域再生計画 | 熊本県球磨郡五木村の全域及び八代市の区域の一部(東陽町、泉町及び坂本町) | 八代・五木地域においては、九州山地から八代平野まで広大な面積を有しており、森林資源が豊富で利用伐木齢を迎えた森林も多くあり、森林整備への要請が高まっている。この優良な森林資源の活用を促進するべく海外への木材輸出や木質バイオマス燃料とする施設の導入も促進しており、森林の持つ公益的・多面的機能の発揮を促進している。このようことから森林整備の効率化や木材の搬出・運搬経路である道路の整備に取り組みすることで八代・五木地域のやすらぎと活力に満ちた地域再生の実現を図る。 |
| 136 | 熊本県 | 熊本県、山都町 | 山の都づくり計画 | 熊本県上益城山都町の全域 | 山都町は、過疎化と高齢化が進み、人口は16,981人、そのうち高齢者人口は6,754人となり高齢化率は39.7%となっている。また、2040年には人口が8,712人、高齢者人口は4,830人となり、高齢化率が55.4%となると推計されている。こうした状況を打破するため、道整備交付金を活用し、農産物の地域ブランド化・6次産業推進、町への移住定住の推進、間伐材等の地域再生エネルギーを活用するための交通環境整備、町が運行するコミュニティバス路線の安全確保のための路線整備を行い、地域住民が心豊かに暮らせる魅力的な山の都づくりを目指す。 |
| 137 | 熊本県 | 熊本県、多良木町 | 農林業生産の高効率化と住民の安心できるまちづくり計画 | 熊本県球磨郡多良木町の全域 | 本町は、熊本県の南部に位置し、町の面積の約83%が森林に覆われている、古くから農林業が盛んな町である。町の地形は南北に細長いものとなっており、山間部を中心とした地域住民及び林業従事者にとっては不慣れた道路事情となっている。このため、道整備交付金を活用し、町道と林道の整備を連携しながら進めていくことで、「農林業生産の高効率化と住民の安心できるまちづくり計画」を目指す。 |
| 138 | 大分県 | 大分県 | 安全・安心で交流を促進するみなとづくり計画 | 臼杵市の区域の一部(臼杵港及び東深江漁港) | 計画地区は水産業が基幹産業であり、特に東深江漁港を中心に一本釣り、まき網、はえ網、底引き網等が盛んである。しかし、施設の未整備により越波による安全性が確保されていないため、港の施設整備によって物流の効率化や労働環境改善を促進し、地場産業の振興を図る。また、本地区は南海トラフ地震による被害が予想されていることから、地区の物流拠点である臼杵港に耐震強化岸壁等の整備を行い緊急輸送体制を確立することによって、災害に対応する強い物流を構築し産業の効率化や安全性に通じた地域の一体的な発展を図る。 |
| 139 | 大分県 | 大分県、大分市 | 「安全・安心・健康」いやしの里づくり計画 | 大分市の区域の一部(大南地区) | 既存の国道・県道に加えて広域農道及び市道を整備することによって広域道路ネットワークを構築し、物流の効率化を図ることで、農業の担い手による構造改革を推進して安全な農産物の提供の拡大を行うとともに、地域総合病院、県の広域防災拠点でもある総合運動公園や文化交流施設等への移動時間を短縮して、生活環境を向上させ、安全・安心で健康的な生活が実感できる地域づくりの実現を目指す。 |
| 140 | 大分県 | 日田市 | 水と緑があふれ 未来輝くまち～水郷ひた～ | 日田市の全域 | 日田市は、北部九州の中央に位置し周囲を山々に囲まれ古くから水を中心としたまちづくりを行ってきた。しかし、産業構造や生活様式の変化により、少しずつ河川環境も変化し、市民の望む清流の姿からかけ離れてきた。このような中、汚水処理施設整備の推進と併せ、NPOや市民と一緒に清掃活動や環境教育など、河川環境の保全に取り組むとともに、筑後川上流域と連携し、清流保全に向けた条例などを検討して、官民一体となって「水と緑があふれ 未来輝くまち～水郷ひた～」の復興を目指す。 |

| 番号 | 都道府県 | 作成主体名 (地方公共団体名) | 地域再生計画の名称 | 地域再生計画の 区域の範囲 | 地域再生計画の概要 |
|-----|------|--------------------|-----------------------------------|-----------------------------------|---|
| 141 | 宮崎県 | 宮崎県 | 港がかなえる豊かな都市・串間 | 串間市の区域の一部 (福島港、都井漁港 及び市木漁港) | 串間市は古くから水産業を中心として栄え、福島・市木・都井の3港は水産物供給拠点の役割を担ってきたが、陸揚げ施設の老朽化、港内静穏度不足を原因とする漁労安全性確保や、荒天時在港不能による出漁機会喪失対策が喫緊の課題となっている。このため、3港における漁労活動の安全性確保や、港内静穏度確保を目的とする係留付属施設や外郭施設を整備し、水産物の生産力を強化するとともに、地域活性化事業等との連携による地場産品の販売拡大を図り、来訪者集客力やリピーター率を向上させ、地域の再生を推進するものである。 |
| 142 | 宮崎県 | 宮崎県、日向市 | 元気で活力ある産業が育つまちづくり計画 | 日向市の区域の一部 (東郷町) | 日向市では、「市民との協働」、「地域力の活用」という地域経営の基本理念のもと、元気で活力ある産業が育つまちづくりに取り組んでいる。「意欲ある担い手が増え、安全、安心な日向入郷ブランドが確立され、農林水産業が活性化している。市民は、地元の食材を使用し、地産地消による豊かな食生活が営まれている」という将来目標像の実現のため、地域、文化、産業の基盤となる市道及び林道の整備を行い、活力ある地域づくりに取り組むことにより、地域力を最大限に引き出し農山村の再生を図る。 |
| 143 | 宮崎県 | 宮崎県、西都市、西米良村 | 豊かな自然に抱かれた安らぎの地域づくり計画 | 西都市及び宮崎県児湯郡西米良村の全域 | 本地区は、点在している古代から受け継がれた文化施設や九州中央山地から広がる自然などの数多くの魅力ある観光施設、今後伐期を迎える多くの森林を抱えており、市道・林道を整備することにより、路網ネットワークを形成し、様々な観光資源を活用するための周遊型・滞在型観光ルートづくり、林業の効率化を図り、地域の活性化を推進する。 |
| 144 | 宮崎県 | 宮崎県、諸塚村 | 支え合う全村森林公園づくり計画 | 宮崎県東臼杵郡諸塚村の全域 | 諸塚村は、諸塚の美しい森を多くの人たちに知ってもらおうと、「魅力ある全村森林公園づくり」を村おこしの方針とし、村づくりを進めてきた。この取組を更に推進し、人づくり、地域づくり、産業振興の基盤となる自治体組織の再生と充実、森林の魅力が都市部に伝える交流の更なる促進を図る。また、各種サービスの集約化(コンパクト化)とネットワーク化された路網の整備により新しい集積を形成し、支え合う社会を実現するために必要な村道、林道の整備を行い、「魅力ある全村森林公園づくり」をさらに推進する。 |
| 145 | 宮崎県 | 宮崎県、椎葉村 | 自然と共存する快適なむらづくり計画 | 宮崎県東臼杵郡椎葉村の全域 | 椎葉村は、面積の96%が急峻な山林原野で占められている。こうした厳しい立地の中で農林業を基幹産業とした住みやすい住環境を実現するため、村ではこれまでも村内の道路網整備に取り組んできたが、未だ未整備箇所が多く存在している。このため、本計画において林道と村道の整備を推進し、持続的な林業経営と森林機能の向上を図るとともに、観光地へのアクセス道や医療及び災害時などの緊急輸送路としての機能の向上を図る。これらの取り組みにより、本村の美しい自然と共存する快適なむらづくりの実現を目指す。 |
| 146 | 宮崎県 | 宮崎県、美郷町 | 自然に親しむ、住みよい郷づくり計画 | 宮崎県東臼杵郡美郷町の全域 | 美郷町では、自然環境を活かした「住みよい郷づくり」をテーマにしたまちづくりに取り組んでいる。この取組をさらに推進するため、町道及び林道の整備を中心に、交通・通信体系等の生活・生産基盤を有機的に結び付け地域間のネットワーク網の整備を推進することで、農林業の振興、林業の活性化と木材生産流通の拡大とともに、都市農村交流を促進、自然に親しむ観光客の増加を図る。 |
| 147 | 宮崎県 | 宮崎県、高千穂町 | ”人つどい、神笑う”いのちをつなぐ「日本のふるさと」高千穂再生計画 | 宮崎県西臼杵郡高千穂町の全域 | 高千穂町は九州のほぼ中央部、宮崎県の最北端に位置し、名勝天然記念物高千穂峡が神秘的かつ雄大に大自然を創出している。また、県内外には「神話と伝説の里、峡谷のまち」として知られており高千穂神社や天岩戸神社などの観光資源が多く点在し近年は年間100万人を超える観光客が訪れる。しかし公立病院や各種施設がある中心市街地と集落を結ぶ主要な道路である町道、林道、農道は山間部特有の幅員が狭く、急勾配、急カーブの道路であり、農林産物の輸送や災害時の緊急輸送路としての働きだけではなく、観光資源へのアクセス道路となっているため、改良及び舗装事業に取り組み、人がつどい、いのちをつなぐ道路網の整備を行う。 |
| 148 | 鹿児島県 | 鹿児島県、日置市 | 交通ネットワークを有効活用した健全なまちづくり計画 | 日置市及びいちき串木野市の全域 | 当地域は、日本三大砂丘の「吹上浜」が南北に続く地理的条件を活かしたマリンスポーツなどが盛んであり、市内の各地には総合運動公園施設が整備され、県内有数のスポーツ合宿の拠点となっており、一年を通して多くの競技会が開催されているほか、農山村地域の農林業従事者、高齢者等の保健体養や健康増進の場となるなど、スポーツを通じた健やかな街づくりに取り組んでいる。市道と林道の一体的な整備を行うことで、健全な市街地の形成と農山村地域の生活環境を改善することにより、地域全体の再活性化を図る。 |
| 149 | 鹿児島県 | 鹿児島県、伊佐市、さつま町 | 地域の魅力的な資源を生かしたまちづくり計画 | 阿久根市、薩摩川内市及び伊佐市並びに鹿児島県薩摩郡さつま町の全域 | 当地域は、海・森林・温泉など魅力的な資源が豊富な地域である。近年は九州新幹線的全線開通とともに南九州西回り自動車道等の整備、木質バイオマス発電施設の整備などが進められており、豊かな森林資源の整備・有効活用とともに、観光客等の増加も期待されている。このため、これら基幹的交通網を軸とした交通ネットワークの整備の一貫として道整備交付金を活用し地域間のアクセス向上と環境改善を図ることにより、地域の魅力を活かしたまちづくりを目指す。 |
| 150 | 鹿児島県 | 鹿児島県 | 世界につながる鹿児島・観光交流活力創出プロジェクト | 鹿児島市の全域 | 鹿児島市では、現在、人口減少への転換期にさしかかっており、特に20代の大規模な転出超過になっている。また、雇用情勢も依然として厳しい状況にある。鹿児島市固有の歴史や自然を生かし、世界文化遺産や世界ジオパークを目指す取組を実現し、情報発信するとともに、その魅力を高める環境づくりや誘致・受入体制のさらなる整備充実、新たなイベントの創出、交通結節機能強化と回遊性の向上、緑の意しと憩いの空間整備など、国内外からの観光交流の拡大を図り、地域経済の活性化、地域の創生を目指すものである。 |
| 151 | 鹿児島県 | 鹿児島県 | 「水と緑が輝くまちかごしま」水環境再生計画 | 鹿児島市の全域 | 鹿児島市は、雄大な桜島や錦江湾、郊外に広がる田園風景や清らかな川、鮮やかな緑など豊かな自然に恵まれている。また、鹿児島市の中心部を流れる甲突川をはじめ、多くの河川が錦江湾に流れ込み、これらの川や海は市民に憩いと安らぎの場として親しまれている。現在本市が目指している人と自然にやさしい快適なまちづくりをさらに推進するため、公共下水道の整備推進及び単独処理浄化槽、汲取り便槽から合併処理浄化槽への転換の促進を図ることにより、自然環境の保全並びに生活環境の改善を総合的に推進し、「水と緑が輝くまちかごしま」の実現を図る。 |
| 152 | 鹿児島県 | 志布志市 | 志布志市地域再生計画「志×志プロジェクト(シンプロジェクト)」 | 志布志市の全域 | 「日本一の「志あふれる志布志ブランド」づくり」を一層推進し、全国市町村初のSNS複合型自主メディア「シンガーデン」による情報発信事業を主軸に、次世代を担う若者にとって魅力あるまちづくりを、全ての市民が「志」として推進する。「情報発信事業による雇用創出・人材誘致」「UIターン移住定住支援事業」「空き家・廃校リフォームモデル事業」「創業支援、販路開拓、観光・対日投資支援事業」「市民運動・多機能拠点の形成・多世代交流」等に総合的に取り組むことで、次世代型の持続可能な地域づくりを目指す。 |